

九大広報

Kyushu University Campus Magazine

vol. 62

2009.3



総長
対談 渡邊 浩之
トヨタ自動車株式会社技監

ふろんと
ランナー

西山 浩司

工学研究院 環境都市部門 助教

九州大学は2011年に100周年を迎えます



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の世紀を拓く

巻頭
エッセイ

江戸ばなし

最終回 九州大学名誉教授

中野三敏

和本の領域は、江戸人の思想・文化・生活の凡てをカヴァーする広がりを持っています。敢えて、“無いものは無い”と言っても過言ではありません。従って、江戸に即して江戸を見るに当たっては、和本リテラシーを身につける限り、材料に困るということとは殆んどあり得ないのです。ですから、どこから手をつけても構わないのですが、やはり物には順序がありましょう。それをしたり顔で説くのもこの齢になれば何がしかは許されようかと、厚かましく述べて見ます。

江戸人の思想の根幹は儒教にあります。儒教は全方位的・総合的な体系を備えた思想であり、学問でありました。現代人の思い浮かぶ江戸の書物といえは、まずは文芸的な領域、それも西鶴・近松・芭蕉辺りから馬琴・京伝・三馬・一九などといった

戯作もの、即ち通俗的領域の文芸という事になりました。江戸の文化遺産としての文芸は、これ迄はこれで十分と評され続けていました。しかし実際に江戸人に評価されたのは、漢詩・漢文・和歌・和文といった雅文芸の領域で、それ等の思想的・精神的基盤となつたのは儒教的教養に他なりません。江戸に即して江戸文化を理解することの第一歩は、まさしくそこにあります。それは中国の儒学を基盤としながらも当然、江戸の儒学としての独特の発展を示しています。まずはその十全な理解を志すのが結局は江戸文化に通じる一番の早道になる筈です。儒学は今日の学知で言えば人文・社会・自然科学の凡ての領域にまたがります。歴史・文芸・政治・経済・医学・数学・天文学とにかくあらゆる学問の根幹となりました。和歌・和文の領域で

も江戸に入ると儒教的な体系に即して、和学として再構築されたのです。一見、それとは最も遠い存在のように思はれがちな戯作などの俗文芸も、当然その例に洩れる所ではあり得ません。戯作者と称する人達の凡てが、その人格形成期において学んだのは、江戸儒学の倫理そのものでした。恐らく「論語」を読まないで戯作者になった人は一人もないと断言出来るでしょう。「大学」の三綱領・八条目を暗んじない知識人は、江戸期においてはあり得ないのが実情です。森鷗外は「過去の生活は食ってしまった飯のようなものだ」という言葉で文学を説明しますが、まさしく江戸人の飯が儒教だったのです。それ等の知識は殆んど無意識の内に戯作の根幹となり、措定・反措定、何れにせよ血肉化していたことは疑いようがありません。戯作と儒学的教養

とは、謂わばクレインの腕木と鍾りの関係とも言えます。戯作者がどれほど荒唐無稽な作意を企てたとしても、即ち腕木をどれほど精一杯に伸ばしたとしても、その鍾りが盤石である限り、ひっくり返る心配はありません。逆に言えば儒学的教養（倫理）がしっかり身につけている限りにおいて、どれだけでも遊びの精神を解放できたのです。江戸戯作の傑作はそのようにして生まれました。もはやどこから始めるべきかは言う迄もないことでしょう。そのように分け入ることで、初めて江戸文化の沃野が我々の前に開けることは必然なのです。

中野三敏 (なかの みつとし)

国文学者

一九三五年福岡市生まれ。六四年早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻修了。七二年九州大学文学部助教授、八二年同教授、九九年退職。九八年紫綬褒章受章。

九大 広報

Kyushu University Campus Magazine

vol. 62

2009.3

編集発行 九州大学広報専門委員会

事務 九州大学総務部広報室

住所 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

電話 092-642-2106

FAX 092-642-2113

E-mail koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL http://www.kyushu-u.ac.jp

印刷 アイメディア株式会社

巻頭エッセイ 最終回

江戸ばなし 名誉教授 中野三敏……1

特集

歓迎 二〇〇九年度新入生

歓迎メッセージ

有川総長から……3

学部長から……4

先輩たちから……8

新入生へ「学生窓口・健康相談室案内」……9

「図書館・留学・サークル案内」……10

始まる伊都キャンパスライフ！……11

糸島の魅力……13

全学共通ICカードによる学生証及び職員証がスタート……15

研究

□ ERATO「高原ソフト界面プロジェクト」……16

総長対談

トヨタ自動車株式会社技監

渡邊 浩之……17

大学院統合新領域学府が誕生……22

六本松の歴史（二） 新制九州大学――

大学文書館教授 折田 悦郎……23

シリーズ研究・ふろんとランナー

工学研究院 環境都市部門 助教

西山 浩司……25

同窓会の話

□ 東京同窓会総会・新年賀詞交歓会……29

□ 唐津地区同窓会総会及び懇親会……30

□ 関西同窓会新年賀詞交歓会……30

九州大学百周年記念事業②……31

九大大生が案内する世界のキャンパス

□ メキシコ国立自治大学……33

ニュース

□ 秋篠宮殿下が宮崎演習林をご訪問……34

□ 九大OBによる就活応援イベントを開催……34

□ グローバルCOEプログラム「未来分子システム科学」でシンポジウムを開催……35

□ 若田光一宇宙飛行士が国際宇宙ステーションへ……36

□ 学生懸賞論文で学生が大賞を受賞……36

□ 箱崎九大記憶保存会が入賞……37

告知版

□ 外国語学習施設利用の案内……37

□ 九州大学開学記念行事……38

新聞で報道された九州大学

□ 平成二十年十二月～平成二十一年一月……39

海外オフィスだより

□ ロンドンオフィス……41

ようこそ九州大学へ……42

編集後記……42

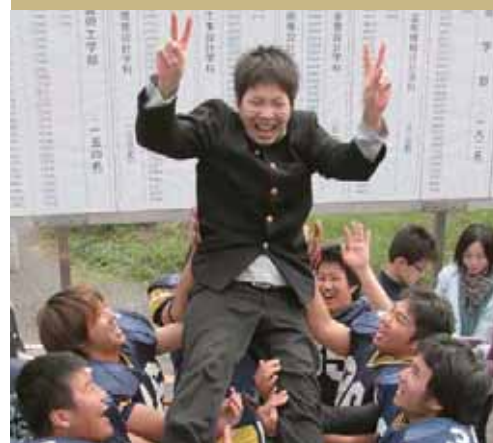
□ お読みになってのご感想やご意見をお待ちしています。

□ 投稿をお受けします。文字数は、300字未満。手書きのものも受け付けますが、できればテキストファイルのフロッピーディスク又はEメールでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不適当と思われる原稿は掲載しません。

■ 九州大学関係者が本誌記事を転載する場合は、「九大広報第〇号から」と明記してください。学外の方は、事前に事務までご連絡願います。

■ 「九大広報」は九州大学ホームページでもお読みいただくことができます。

■ 次号は、2009年5月発行予定です。



二〇〇九年度

新入生 歓迎

総長からのメッセージ

九州大学総長

有川 節夫

このたび九州大学に入学した皆さんを、心から歓迎いたします。また、新九大学生を今日まで物心両面から支え、励ましていただきました多くの皆様へ、心から感謝とお祝いを申し上げます。

長年の努力が実り、九州大学に入学した皆さんにまず私が伝えたいのは、皆さんはそれぞれ極めて高い能力を持っているということです。得てして、今の若者は、自らを過小評価し、つい現状に安住しがちです。皆さんは、社会のリーダーとして活躍できる資質を持っています。これから九州大学で多くのことを学び、その資質を開花させてください。

人類は、これまで文明を発展させてきた一方で、今、多くの困難な課題にも直面しています。このような中で、これから九州大学で学ぶ皆さんに、これから九州大学で学ぶ皆さんに、

んに、私から二つのことを申し上げます。たいと思います。

第一は、皆さんは、大学ではそれぞれの専門について学びます。しかしながら、現代の社会は、複雑かつ多様化の度合いを増しており、細分化された専門知識のみでは解決が困難な問題が溢れています。皆さんには、専門という一本の軸を築きつつも、新たな課題に果敢に挑戦する気概を持ち、変化の著しい社会に対応できる柔軟さを培ってほしいと思います。

第二は、インターネット等の飛躍的な発達により、最近ではあらゆるところで必要な情報を簡単に素早く手に入れることができるようになりました。けれども私は、敢えて皆さんに図書館に通って勉強してほしいと願っています。九州大学の図書館は、日本でも有数の素晴らしい設備を持っています。きつと自宅では得

られない深い知識を得ることができるでしょう。図書館で勉強できる喜びを是非感じてください。

皆さんはこの四月からオープンする、伊都キャンパスの真新しいセンタースタジオで学ぶ第一期の九大学生です。また、在学中の二〇一一年には、九州大学の百周年という記念すべき出来事にも立ち会うこととなります。大学で積極的に学び、九州大学の学

生として九大力（九州大学の力）を身に付け、さらに、九大力（九つの大きな力）、例えば、「体力」、「知力」、「気力」、「交渉力」、「指導力」、「国際力」、「分析力」、「判断力」、「総合力」を身につけて下さい。

そして日本、ひいては国際社会でリーダーとして活躍できる社会人となって巣立って欲しいと願っています。

（ありかわ せつお）



二〇〇九年度

新入生 歓迎 学部長からの メッセージ

いざ共に人文学の新世界へ

「愛している」という言葉（思い）から喜びが生まれます。言葉はあらゆる創造の源泉です。言葉そして文字を大切にし、掘りどころとしながら、人間と人間が生み出してきた様々な営為と文化の諸相を根源的に問い直していくのが、文学部の学問、すなわち人文学なのです。

その文学部の門に喜びと希望とをもって新たに入ってこられたあなたに、心からの歓迎と祝福の言葉を申し上げたいと思います。

中国の古典『中庸』に、「徳性を尊びて、問学に道る」という言葉があります。広く深い学問の世界に分け入っていく時、それは自己という存在そのものを揺さぶり、鍛え上げていくことを意味します。文学部の学問は、日々そのことをあなたに厳しく迫ってくるでしょう。そして温かく励ましてくれるでしょう。

あなたが今日からの生活の中で、時に喜び、時に苦しみながら、学び、問い、思い、索め、やがて決断をもって新たな社会へ一步を踏み出していくその日まで、私たちはいつもあなたの方と共にいます。さあ、一緒に悠久なる人文学の世界へ歩み出していきましょう。

柴田 篤

しばた あつし

専門分野…中国哲学史

文学部長



他者との深まりのなかで 自己スタイルの確立

教育学部へのご入学おめでとうございます。

わが国にも知識基盤社会がすでに到来しております。この特質として、知識には国境がなく、グローバル化が一層進む、知識は日進月歩であり、旧来のパラダイムの転換を伴うことが多く、柔軟な思考力に基づく判断がより期待される、性別や年齢を問わず参画することが促進される、などが考えられます。

教育が抱える課題も複雑化し、価値観も多様化しています。皆さんは、本学部では人間に対する深い洞察と共感的態度を持ちながら社会の様々な領域における教育・心理にかかわる問題を学ぶ機会を持ちます。自己・他者との大学生活における深まりのなかでバランスのある総合的な力を高め、自己スタイルの存在感を是非確立してください。

教育学部も皆さんのクリエイティブな若さ、学習・生活ニーズに対応できるようなポジティブな組織体制を取り、コミュニケーション・チャンネルを図っていきたいと思います。

八尾坂 修

やおさか おさむ

専門分野…教育行政・
学校経営学

教育学部長



法学部長

土井 政和

どい まさかず
専門分野…刑事政策



法学を学ぶ知的忍耐力を

皆さんはこれから法学の勉強を始めるわけですが、民法や刑法などの教科書を開いたとき、きつと、どうしてこのように難しい専門用語が必要なのだろうか、もっと分かりやすい言葉で書いてほしいといった感想を持つだろうと思います。人類の長い歴史の中で培われてきた法学を学ぶにはそのような法的概念に慣れる知的忍耐力が必要です。実際、それぞれの法領域の全体像がある程度理解できなければ個々の条文や解説が理解できないことも多いのです。また、具体的な事例に当たりながら、様々な事実関係の中から法的に重要な事実を引き出し、それを法的に構成し解決していく力を身につけていかなければなりません。そして、その法的問題の背後にある人間関係や社会構造の問題、あるいは立法そのものをも人権感覚をもって批判的に捉えられるようになったとき、社会科学としての法学の面白さを自覚できるようになると思います。それまで少し時間と辛抱が必要ですが、法学を学んでいるときには同時に自分の知的忍耐力も試されているのです。

経済学部長

川波 洋一

かわなみ よういち
専門分野…金融論



波乱の時代への挑戦

長い間の努力が実を結び、九州大学合格の栄冠を勝ち取られた皆さん、おめでとうございます。皆さんを九州大学にお迎えできることを大変嬉しくおもいます。

経済学という学問が体系付けられたのはそれほど古いことではなく、ようやく十八世紀になってからのことでした。アダム・スミスの『国富論』（一七七六年）がその代表と言つてよいでしょう。しかし、人間の経済活動は人類の歴史とともに古いものです。特に近年において、人間を取り巻く経済環境は日々変化しており、とりわけ経済現象のダイナミックな変化には目を見張るものがあります。温暖化をはじめとする地球環境問題の噴出、中国やインドの急速な経済成長と世界経済の構造変化、サブプライム問題にあらわれる国際的な金融危機等々、世界を揺るがす大きな変化が次々に起こってきています。複雑化し、多様化し、そして波乱の度合いをますます強めています。現代はまさに経済の時代です。こうした現代に生起する問題は、まだ満足すべき理解や解決策が見出されていないものばかりです。皆さんのように意欲と若さと情熱を持った若者とともに、これらの問題の解決策を一緒に考えていきたいものです。

理学部長

宮原 三郎

みやはら さぶろう
専門分野…大気力学



大学で学ぶことは

理学部への入学おめでとうございます。理学部では、自然の理を説明する学問を通じて人類が培ってきた自然観や英知を学び、社会の発展、地球環境の維持・改善に役立つ人材の育成を目指す教育が行われています。理学は物事をその根源から問う学問であり、基礎科学分野を対象としています。理学の成果は現代の社会を支える先進技術の多くに応用されており、理学なくして現代の社会は成り立たないと言っても過言ではないでしょう。

大学での勉学は、物事の表面的な理解に止まることは許されません。新入生の皆さんがこれまで経験してきた勉学とは本質的に異なることをいち早く悟り、各々の専攻分野において明確な目的意識を持って、勉学に励まれることを期待しています。また、大学が専攻分野での学問を深める場であることと並んで、豊かな人間性形成の場となることを期待しています。大学では、これまで皆さんが経験したこともない様々な考えを持つ人々との巡り合いが可能です。良き朋・師と巡り会い、更には広範な人々および精神との巡り合いを可能とする書を通じて、自身を大いに磨いてください。

理学部での学生生活が、皆さんの未来を拓く有意義なものとなることを願ってやみません。

知への好奇心をもってキャンパスライフを楽しむ

新入生の皆さん、これまでの努力が報わ
れてのご入学おめでとうございます。皆さんは
これからの医系キャンパスでの生活に心躍ら
せていることと思います。

九州大学医学部は医学科、保健学科、生命
科学科の三学科を擁しています。その三学科
は、「生命の基本原理の探求から、様々の疾
病の原因究明とその検査法、診断法、治療法、
看護法の開発までを手がける研究組織」の基
にあり、基本的知識のみならず、最先端の生
命科学・医学・医療技術を踏まえて、皆さん
を教育します。韓国や米国の大学との学生交
流の機会もあります。今からの四年間あるい
は六年間は長いようですが、瞬く間にすぎ過
ぎ去ります。しかも、二度と経験しない人生
のGolden Timeです。多くの友人、師との巡
り会いや医系キャンパスの中の研究室を訪ね
る機会もあると思います。医学部での勉強は
これまでの高校までのものとは大きく異なり
ます。実際に生命科学・医学・医療・保健学
を実践するための勉強です。是非、視野を広
く、かつ、知に対する好奇心を常にもって、
しっかりと知識を自分のものにしてほしいと
思います。

良く遊び、良く学んで有意義な医学部生活
を送ってください。

医学部長

高柳 涼一

たかなぎ りょういち
専門分野：内分泌代謝・
糖尿病学



個性の創造が未来を築く

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
待ちこがれた歯学部への入学を果たし、
皆さんの心の中には将来への大きな夢が膨ら
んでいることと思います。皆さんが歯学部を
選択された理由はそれぞれに異なり、したが
って皆さんの夢にはそれぞれの個性があると思
います。九州大学歯学部では皆さんの個性
を育み、その夢を具現化することで、社会の
中で生きるということを心から感じられる歯
科医師の育成を目指しています。歯科医師の
役割は単に歯や口の病気を治すことだけでは
なく、歯や口の病気で悩む人を救うことであ
り、あなた方の発想ひとつで歯科医療の可能
性はどこまでも広がっていきます。そのため
には、細かな技術や知識の習得だけでなく、
他人に共感できる、また他人から共感される
大きな人間力を身につけることが大切です。
皆さんの夢が大きく育つことが、九州大学歯
学部自身の成長に他なりません。これから九
州大学歯学部を育てていくパートナーとして
限らない潜在能力を秘めた皆さんを迎えられ
たことを大変、嬉しく思うと同時に大きな期
待を寄せています。皆さんのご入学に心より
歓迎の意を表します。

＊赤峰昭文歯学部長の任期は三月三十一日で満了となり、四
月一日に吉浦一紀（よしうらかずのり）歯学研究院教授が歯
学部長に就任。

赤峰 昭文

あかみね あきふみ
専門分野：歯科保存学

歯学部長



人との交わりを財産に

馬出医系キャンパスへの入学おめでとう。
一住人であります薬学部も六年制「臨床薬
学科」が誕生して四年目になります。新入
生の皆さんは、どういう思いで薬学部の門
を叩かれましたか？多くの学生さんが、難
病を一発で退治するような素晴らしい薬を
創りたいと夢を語ります。一方で、薬物汚
染、不適正使用に伴う副作用・薬害等の報
道も後を断ちません。薬学部は「薬が世の
中に出るまでは創薬科学科で、医薬の適正
な使い方に關しては臨床薬科学科で」を基本
構想に二学科制になりました。四年次から
は、学科固有の異なる教育メニューになり
ますが、お互いの学科に関心を持ち続けて
ください。学部・学科を越え、先輩・後輩、
教員との交わりを深めることで視野は広が
ります。大学時代の知己は一生の財産とな
ります。「よく学び よく遊び」の精神で、
専門性や人間性も自ずと身につけてきます。
近い将来、皆さんが、創薬の現場で、医療
の現場で、それぞれ信頼されるエキスパー
トとして輝くことを期待しております。

樋口 駿

ひぐち しゅん
専門分野：薬物動態学

薬学部長



工学部長

末岡 淳男

すえおか あつお
専門分野：機械力学



工学部への入学、おめでとう。工学部では建築学科を除いたすべての学科・コースが新しい伊都キャンパスに教育研究活動の場を移しました。このすばらしいキャンパスで世界に誇れる高いレベルの教育を提供しますので、しっかり学んで世界のために役立ててください。

工学は、社会や自然への影響を常に考慮しつつ制約された条件下での作りを具現化する学問で、文化の域を超えた世界的な価値観と自律的・継続的自己向上心を持った、創造性豊かな技術者及び研究者を育成することが工学部の目的です。工学には色々な専門分野があり、その要素を組み合わせることで、現代の文明社会の基盤が築かれています。さらに、医学、農学など他分野との連携・融合により新たな科学技術が創成され、これまで困難とされてきた問題が解決されようとしています。そうした科学技術開発を担う皆さんが、専門分野の深い知識である専門力のみならず、部活・ボランティア・社会を通して人間力の向上をも意識して、充実した学生生活を送られることを期待します。

※末岡淳男工学部長の任期は三月三十一日で満了となり、四月一日に日野伸一（ひのしんいち）工学研究院教授が工学部長に就任。

芸術工学部長

安河内 朗

やすこうち あきら
専門分野：生理人類学



新時代の「技術の人間化」をめざして

芸術工学部へのご入学、おめでとうございます。日本に芸術工学が誕生して、四十年が経過しました。「技術の人間化」を理念とした高次のデザイナーの育成を目指し、芸術工学部はそのパイオニアとして常に先頭を走っています。開学時（当時は九州芸術工科大学）この理念を実践できる専門家は世に不在といわれ、ミッシングテクニシャンと呼ばれていました。いまだに謎とされるヒトとサルとの共通の先祖をあらわすミッシングリンクからきた言葉です。あれから、芸術工学部は多くのミッシングテクニシャンを輩出してきました。そういう意味ではすでにミッシングではなくなくなってきています。技術の興味も展開も大きく変貌しようとしている新しい時代に入ってきた君たちには、次世代の「技術の人間化」をミッションとした新たなデザインプロデューサーとしての活躍が大いに期待されています。まずは本学部で君たちが自らをデザインし、夢に向かってチャレンジしてください。私たちは、そのお手伝いをするためにお待ちしております。

農学部

吉村 淳

よしむら あつし
専門分野：植物育種学



新たな知と若い力への期待

農学部へのご入学、おめでとうございます。農学部は二〇〇九年に創立九十周年を迎えます。これまで、各界で活躍する優れた人材を多数輩出し、我が国やアジア地域の人々の生活の向上と関連産業の発展に大きく貢献してきました。

本学部では、「生命、水、土、森、そして地球から学び得た英知を結集し、人類の財産として伝え、人類と地球環境の豊かな共存を目指して進化する農学を実現する」をミッションとして定め、教育・研究等の活動を活発に行っています。二十一世紀に入り、「食料問題」、「水、環境、エネルギーの問題」、「食の安全と安心」等、農学を取り巻く国内外の課題は山積しており、これらを適正化して、持続可能な状態で発展させる学術としての農学への要求は高まる一方であります。このような要求にこたえて課題解決を実現していくためには、次世代の新たな知と若い力が必要とされています。

皆さんの健闘を切に期待しています。

二〇〇九年度

新入生 歓迎

在学生からのメッセージ

九州大学混声合唱団

柳 裕哉さん（教育学部二年）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学は、高校生の時よりも時間があると思っているかもしれませんが、実際、入学してみると勉強やサークル活動などで、自由な時間がなかったりもします。その中で大切なのは、毎日の生活の中でやりたいことやれることのバランスをしっかりと見極めることではないでしょうか。

私も二月から混声合唱団の代表を務めていることや、教育学部で教職課程も履修していることもあって、忙しくも充実した大学生活を送っており、時間の使い方の大事を感じています。

混声合唱団の魅力は、多くの仲間達と一つの曲に向かう事です。練習も、今年から箱崎と伊都で練習を行う予定で、定期演奏会も行っています。皆さんも様々なことにチャレンジしてください。

高橋典子さん（法学部二年）

ご入学おめでとうございます。大学は高校生の時と違って、いろんなバックグラウンドを持った多くの人と出会える場です。当然、大学の授業でも多くのことを学ぶことになると思いますが、授業のほかにサークル活動やアルバイトなど様々な場面で仲間と出会い、日々経験することは貴重な経験になると思います。

現在、私が所属している混声合唱団には現在約七十名の部員が在籍していますが、ここにも様々な学部から様々な考えを持った仲間がいます。部の運営にも携わり、大変ですが、皆で助け合いながら運営しています。勿論、ステージでそれぞれの分担をきちんと果たし、やり遂げた時の充実感は、最高です。皆さんも何か九大でやりたいことを見つけてください。素晴らしい大学生活が待っていますよ。

平成二十一年度個別学力検査（前期日程）等の合格発表が平成二十一年三月八日（日）に箱崎キャンパスで行われました。合格者を祝福する多くの九大学生の風景が、九大に春の訪れを告げる風物詩となっていますが、発表終了後、合格生を祝福したアメリカンフットボール部と混声合唱団の皆さんから新入生へのエールをもらいました。

（学年は平成二十一年三月現在）

九州大学アメリカンフットボール部

屋山公佑さん（農学部三年）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学は自分の好きなことに打ち込める場所です。それが勉強であれ、部活動であれ、必死に打ち込める素晴らしい時間があります。

話してみるとわかりますが、九大学生は皆、しっかりと考えを持っています。そのような仲間達の中で皆さんも何か一つでもいいので、打ち込めるものを見つけてください。

私は農学部生物資源環境学科に所属し、研究室では森林の災害防止効果などの研究に取り組んでいますし、アメリカンフットボール部で主将を務めています。学業と部活動の両立は大変ですが、日々熱い時間を過ごしています。アメリカンフットボールは九大で一番、熱いサークルです。このような熱い経験はそうはできません。新入生の皆さんも熱い大学生活を送ってください。

船津 哲さん（農学部二年）

ご入学おめでとうございます。大学は高校と違って、自由な雰囲気がありますが、その反面、自分から主体的に動かないと何事も進みません。それは、授業でも部活動でもそうだと思います。積極的に仲間や先輩・後輩との関係を築いてください。

とは言いつつ、所属しているアメリカンフットボール部には、入学ガイダンス時になかば強制的に先輩に連れていかれ、入部したのですが（笑）。

大学での授業と同様、アメリカンフットボールの練習も厳しいですが、部内にはしっかりと規律の中にも先輩が先輩にどんな物を言える自由な雰囲気があります。

是非皆さんも、素晴らしい先輩や仲間と出会い、素晴らしいキャンパスライフを送ってください。九大も九大アメリカンフットボール部も最高です！



左から、船津さん、屋山さん、柳さん、高橋さん。

新入生へ

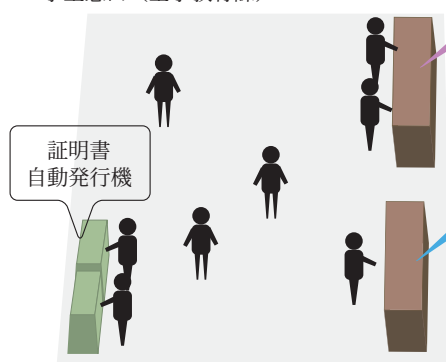
NEW CAMPUS LIFE START!

キャンパスライフ スタート

これから一年、新入生の皆さんは全学教育が実施される伊都地区センターゾーンで学ぶこととなります。伊都地区センターゾーンでは全学教育の授業を通して、社会の変化に強い柔軟な思考力を身につけ、さらに、深い教養に根付いた人格形成を目指していくことになります。

大学での生活は、高等学校とは様々な面で異なり、慣れるまで時間がかかります。学生生活に関する相談や、授業全般の問い合わせ、各種証明書の発行など皆さんをサポートする窓口【全学教育課】が伊都地区センターゾーン一号館二階にありますので、気軽に利用してください。

伊都地区センターゾーン1号館2階
学生窓口（全学教育課）



授業関係

- その他授業全般に関する問い合わせ
- 成績証明書の発行
- 全学教育の授業に係る届け出、手続き

学生生活

- 学生生活に関する相談
- アルバイトの案内
- 奨学金、授業料免除に関する手続き
- 通学、在学証明書等の発行

楽しく過ごすには 健康管理が大切

大学生活の基盤はなんといっても健康です。進学や就職など人生の転機となるような出来事を経験すると、心身の健康を損ないやすいことが知られています。新入生の皆さんの中でも、大学入学を契機に初めて親元を離れて一人暮らしを始める人も多いと思います。

自分自身の健康について自覚を新たに、あらゆる機会を利用して健康の維持増進に自ら努力してください。大学入学は、喫煙や飲酒などその後の健康に影響を及ぼしかねない習慣を身に付ける契機にもなります。また、初めての一人暮らしでは、外食に頼りがちになり、栄養が偏り、体調を崩しやすくなることでしょう。

本学では、学生の皆さんの健康

をサポートする体制を健康科学センターを中心に整えています。身体的、精神的いずれの面でも悩みや異常を感じた場合は、遠慮なくなるべく早めに健康科学センター・健康相談室を利用してください。

伊都地区センターゾーン
生活支援施設2階

健康相談室 TEL:092-802-5881

健康相談室でのサポート内容

- 一般診療
- 精神保健相談
- 血圧・体重測定
- 健康に関する図書の閲覧・貸出
- 休養室
- 各種健康教室

使いたおそう 図書館

九州大学の図書館では、各キャンパスにある六つの図書館・室と三百九十万冊を超える蔵書、世界中の学術情報へと導くWebサイト、そしてそれらを支える図書館職員が、皆さんの学習を強力にサポートします。

図書館のWebサイトを覗いてみよう

充実した施設を利用しよう

図書館のWebサイトは情報の宝庫。各種データベースや様々なツールを使って、世界中の膨大な学術情報や便利なサービスへ効率よくアクセスすることができます。

「図書や雑誌を探す」「論文を手する」「ものごとを調べる」ことや、図書館にない本をリクエストすることもできます。様々な用途に大いに活用してください。

【きゅうへいMyLibrary】

を利用すれば、返却期限の延長や図書の予約、他キャンパスや他大学で所蔵する図書の取り寄せなどができます。



図書館は「本と勉強机があるところ」と思っていますか？

図書館には豊富な図書や雑誌はもちろん、自由に使えるパソコン、DVDなどが視聴できるAVブース、図書館の中でも議論ができるグループ学習室など、様々な施設が充実しています。特に皆さんが最初に使う伊都図書館は、カフェも併設された最新の図書館です。

ぜひ図書館に足を運んで、思い思いの時間を過ごしてください。

海外の大学に交換留学

世界二十五カ国
一一二の大学で学ぶ

海外留学し、人的交流の幅を広め、異文化理解を深めるということとは、国際社会で活躍していくうえで重要なことです。

九州大学には、提携している二十五カ国一一二大学への授業料不徴収・単位互換を基本とする交換留学制度があり、毎年五十人前後の学生が海外の著名大学へ留学しています。学部・大学院が独自に協定を結んでいる大学も二十三カ国七十六機関あり、専門領域の修学も可能です。このほか語学力向上を目的として、夏休みに実施する短期語学研修もあります。また大学独自の交換留学のための奨学金を設け、留学に際しての経済面や生活面での支援を行っていますので、ぜひ海外の大学に留学して、自分の可能性を広げてください。

学生が集うサークル



フィルハーモニーオーケストラや混声合唱団、茶道部、書道部、落語研究会などの文化系サークル、アメリカンフットボール部や野球部、陸上部、バスケットボール部、ラクロス部などの体育系サークル。文化系・体育系を合わせると約百六十あります。五千人を超える学生が日々活発に活動しています。新生の皆さんもサークルに入って、新たな自分探しをしてみませんか。

始まる

伊都 キャンパス ライフ!

平成一七年一〇月に工学系が移転して開校した伊都キャンパスでは、平成二一年四月の六本松キャンパスの移転を経て、新入生の皆さんをはじめ、現在約一〇、八〇〇人の学生・教職員が活動しています。

伊都キャンパスには、キャンパスライフをサポートする「ビッグさんど」や「ビッグどら」などの生活支援施設、授業やサークル活動などに利用できる総合体育館、陸上競技場などの運動施設が整備されています。

最新の設備の整った充実の教育環境、真新しい施設を十分に活用したサークル活動など、充実したキャンパスライフを過ごしてください。



生活支援施設

ビッグさんど

伊都キャンパスで最大の座席数となる食堂や売店が入っている施設。食堂ホールは学生が自由に勉強、課外活動、イベントなど多目的に利用可能。学生の健康面をサポートする健康科学センター分室もあり、悩みや身体に異常を感じた場合は気軽に相談を。

生活支援施設

ビッグどら

ウエストゾーンにある「ビッグどら」は、食堂・喫茶、コンビニ、書店が入っている施設。コンパやパーティーも利用可能なゆとりのスペースを持ち、天気の良い日は屋上テラスで食べることも可能。

その他学生 関連施設

- ⑦ テニスコート（ハード4面）
- ⑧ ウエスト2・3・4号館
- ⑨ 西講義棟
- 🚧 総合学習プラザ（H21.10完成予定）

- 🏠 学生支援施設
- 🏠 仮設グラウンド
- 🍽️ ビッグオレンジ（レストラン・書店）
- 🏠 学生寄宿舍ドミトリーⅠ・Ⅱ

学習支援施設

伊都図書館

自動書庫やICカードによる入館・貸出などの最新設備を備え、ゆったりとくつろげる場としてパソコン、新聞・雑誌などを配したエントランスプラザ「Q-Bridge」がある。ロビーの利用者用カフェ「Libca（リブカ）」では、ドリンクを中心にテイクアウト型の軽食を提供。

課外活動施設 （サークル棟）

体育系や文化系サークルの活動場所として四階建ての建物を整備。一階のピロティ部分は、大人数での活動場所として利用可能。



全学教育施設

センターⅠ・二号館

センターⅠ・二号館は、全学教育を行う講義室、情報処理室、学生担当窓口や修学上の相談ができる相談窓口などが入っている施設。二号館一階ピロティーのカフェテリア「Qasis（クアシス）」は、昼はオープンカフェテリア、夜はビュッフェカフェテリアとして食事を提供。

全学教育・課外活動施設

総合体育館・ 陸上競技場

総合体育館には五つの体育室があり、正課授業やバスケット、バレー、剣道、柔道などの課外活動が可能。周辺にはテニスコート、多目的運動場も整備予定。キャンパス北西部の運動施設ゾーンには、陸上競技場や弓道場も。

糸島 の魅力

伊都キャンパスは「糸島半島」のほぼ中央に位置しており、都市近郊という利便性を持ちながら、玄界灘に臨む豊かな自然が残された静謐な環境にあります。古くからこの地域で人々の往来が盛んであったことを示す遺跡も数多く存在する歴史ある地域で、半島一帯の海岸は、水が澄み、波寄せる砂浜が続く景勝地です。



国宝「内行花文鏡」
国史跡平原遺跡から出土したもので日本最大の銅鏡（直径46.5センチ、重さ約8キロ）

福岡市西区

今津湾に流れ込む河口に広がる「今津干潟」は、クロツラヘラサギやツクシガモなど多くの野鳥が訪れ、カブトガニの産卵地としても有名です。また、今津には、元の来襲に備えて、現在の東区香椎から今津までの約二〇キロメートルにわたって築かれた「元寇防塁」の一部が現在も残り、当時の歴史が感じられます。糸島半島東岸の海沿いには、「福岡市海づり公園」があり、週末は多くの釣り人や家族連れで賑わいます。



石鯛やアジ、ヒラメなど季節により色々な種類の魚が釣れる「福岡市海づり公園」(上)



当時は柑子岳から毘沙門山にかけて約3キロの海岸に築かれ、現在約200mが復元されている「元寇防塁」跡(右)

前原市

前原市南部にある「白糸の滝」は、県指定名勝地であり、落差二四メートルから流れ落ちる様子は、真っ白な飛沫を上げて圧巻です。滝の周囲には、樹齢三百年以上といわれる県指定天然記念物「萬龍楓(ぼんりゅうかえで)」が自生しています。雷山にある「雷山千如寺大悲王院」には、国指定重要文化財である鎌倉時代作の木造千手観音立像と木造清賀上人座像、境内には樹齢四百年といわれる県天然記念物の大楓があり、四季折々に千変万化の美しさを誇っています。



7月初めには10万本以上のアジサイが満開になり、そうめん流しやヤマメの釣り堀もある「白糸の滝」(上)



秋には色鮮やかな紅葉が楽しめる「雷山千如寺大悲王院」(右)



志摩町

町の中央には筑紫富士と呼ばれる美しい可也山があり、玄海灘に面した海岸は、玄海国定公園に指定され、県指定名勝地の「桜井二見ヶ浦」や、国指定天然記念物の「芥屋の大門」では、悠久の時と荒波が作りあげたダイナミックな景観が楽しめます。大河ドラマのロケ地にもなった「幣の浜」もあり、海岸線の道路は、サンセットロードと呼ばれ、白い砂浜と青い海のコントラストが楽しめ、サイクリングやドライブコースとして人気があります。



「日本の渚100選」、「日本の夕日100選」に選ばれた「桜井二見ヶ浦」(上)

玄海国定公園を代表する名勝奇岩として全国的に知られ、日本三大玄武洞の中でも最大の大きさを誇る「芥屋の大門」(右)



二丈町

町の西部の海岸に長さ一・一キロ、幅二〇メートルの弓状に広がる「姉子の浜」は、キュッキュッと不思議な音がする町指定天然記念物の「鳴き砂」で有名です。鳴き砂は、環境の変化にとても敏感なために「環境のバロメーター」と呼ばれ、「姉子の浜の鳴き砂」は九州唯一のもので、全国屈指のラドン含有量を誇る「きららの湯」、平家落人の伝説が残る「平家落人の里唐原」や「千寿院の滝」などの観光名所があります。



白糸を引いたような美しさで流れ落ちる「千寿院の滝」(上)

九州唯一の鳴き砂が楽しめる「姉子の浜」海岸(右)



全学共通

ICカードによる

学生証及び

職員証がスタート

デジタルコミュニケーション証として平成十七年度より実証実験を行ってきた全学共通ICカードが、平成二十一年四月より本格運用が開始されます。全学共通ICカードは、九州大学システムLSI研究センターが開発したM IID (Media Independent ID) 技術に基づいたICカードで、いわゆる九大ブランドのICカードです。

利用できるサービス

全学共通ICカードでは

- ① 伊都キャンパスの建物施設へ入館する際の電子鍵

- ② 理系図書館における入館ゲート※

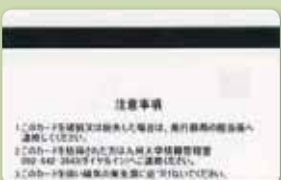
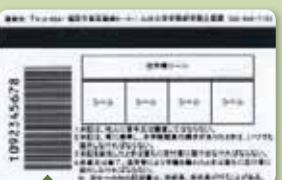
- ③ 理系図書館における図書の貸し出し※が利用できます。

また、伊都キャンパスの生協では、物品の購入や食堂での支払いに利用できるプリペイドのサービスが利用できるようになる予定です。

※(平成二十一年十二月まで) 一部の職員証・パーソナルカードを除く

発行するカードの種類と券面デザインは？

全学共通ICカードには、ICカード学生証、職員証、パーソナルカード、ゲストカードなどがあります。券面デザインは次のとおりですが、券面の背景となる図柄については、デザイン公募の後、有川総長を始めとする審査委員で決定しました。

ゲストカード	職員証	学生証	
			表
			裏

図書館用バーコード

SSO-KIDとマトリックスパスワード

図書館ID・全学共通IDとの関係

ICカードには、券面に図書館利用のための図書館IDのバーコードと全学共通ID (SSO-KIDおよび学生ID) が印字されます。

図書館IDのバーコードは、既存のICカード未対応機器のために印字しています。将来は図書サービスでのICカード対応を進めていく予定です。全学共通IDはオンラインでの情報サービスを利用するためのものです。職員証およびパーソナルカードの券面に印字されている数値表は「マトリックスパスワード」で、セキュリティを重視する情報サービスのログイン時に使う事を想定しているものです。現在、マトリックスパスワード対応サービスはありませんが、将来のために先行して発行しています。

全学共通ICカードに対する
問い合わせ先
全学共通ICカード運用事業室
(情報基盤課情報管理室内)
Tel:092-642-3843
<http://icp.jimu.kyushu-u.ac.jp>

研究

E F A T O 「高原ソフト界面プロジェクト」 Design of Soft Interfaces Inspired by Natural Systems

研究総括 高原 淳 (九州大学先導物質化学研究所教授)

革新的な科学技術の芽や将来の新しい流れを生み出す研究として、(独) 科学技術振興機構 (JST) の戦略的創造研究推進事業 (ERATO 型研究) に先導物質化学研究所の高原淳教授の研究提案が採択されました。自然界に学んだ高性能のソフトインターフェース (ソフト界面) の実現に向けての材料設計から構造・特性解析までの基礎研究を展開する「高原ソフト界面プロジェクト」について紹介します。

高分子、液晶、界面活性剤、ゲルなどのソフトマテリアルの形成する表面と界面 (ソフトインターフェース) は身の回りの至る所に存在し、特徴的な性質を有しています。ソフトインターフェースの研究分野は工学的に重要ですが、その背景の科学は十分解明されていません。そこで、ソフトインターフェースの精密な構造制御と構造・物性の系統的な研究が必要不可欠となります。

自然界に見出されるソフトインターフェースは、合成材料のソフトインターフェースに比べて多彩で特徴的な挙動と優れた動的応答性を示します。例えば、自然界の高機能性ソフトインターフェースとして血管内壁の抗血栓性や股関節の潤滑表面、蓮の葉表面の超撥水性と自己清浄性、イガイの分泌する接着剤、漆樹液から作られる天然漆の美しい薄膜など

が挙げられますが、これら表面・界面のユニークな特性を、合成材料では完全に実現することが出来ていません。「高原ソフト界面プロジェクト」では研究総括のこれまでの高分子表面科学に関する豊富な研究経験を生かし、化学的、物理的な手法を駆使して高性能ソフトインターフェース構築のための普遍的な科学的原理の解明を目指します。

ERATO 「高原ソフト界面プロジェクト」では優れた特性を有する自然界のソフトインターフェースの材料設計指針を化学的特性、動的特性、表面ナノ・ミクロ形態の観点から解明するために、①精密高分子合成技術に基づくソフトインターフェースの分子設計、②自然に学ぶソフトインターフェースの階層構造制御、③ソフトインターフェースの様々な環境における構造・物性のその

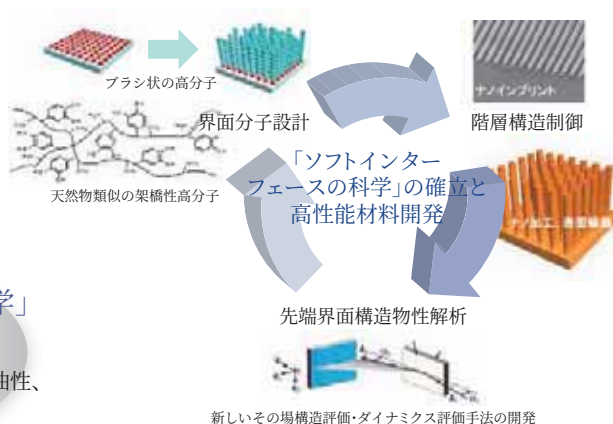
場解析技術と動的特性解析技術の開発、から成る三つのグループを組織し、研究を推進します。本プロジェクトの研究の遂行によりソフトインターフェースの設計・制御が可能となり、空気中、水中など多様な環境の中で潤滑性、耐摩耗性、生体適合性、接着性、防汚性などの高度な機能を発揮する材料を創成する技術が確立されます。これらの研究成果は、ソフトマテリアルの表面ナノテクノロジーに関する基本概念の確立とその応用に資するものと期待されます。平成二十年十月十五日にプロジェクトが発足しました。平成二十一年四月一日より伊都地区でグループリーダー、研究員、技術参事、事務参事とともに本格的に研究をスタートします。

自然界の高機能ソフト界面
(関節の潤滑、貝の接着、蓮の葉の撥水等)

普遍的原理を
分子設計・構造制御・
先端解析に基づき解明

「ソフトインターフェースの科学」
という新学問分野の確立

応用面：高度潤滑性、防汚性、撥水・撥油性、
接着の自在制御など





総長対談

トヨタ自動車株式会社技監

渡邊 浩之

九州大学 総長

有川 節夫

〔進行〕 塩次喜代明

九州大学大学院経済学研究院教授

（塩次教授は、四月一日付けで
統合新領域学府長に就任の予定です。）

次世代のオートモティブ社会と 大学への期待

本年四月、新たな大学院として、統合新領域学府オートモティブサイエンス専攻が設置されます。オートモティブサイエンス専攻は、自動車をサイエンスの対象として捉え、技術のみならず、人間社会や地球環境との共生など様々な領域を含めた統合的な教育研究を行い、自動車産業のみならず社会の様々な分野で指導的立場で活躍できる人材を育成しようとするものです。第一期生の誕生を目前に控え、本学のOBであり、トヨタ自動車株式会社で技術者・技術経営の指導的立場として活躍の渡邊浩之技監をお招きして、有川総長との対談が実現しました。進行を務めるのは、経済学研究院の塩次喜代明教授です。

この対談は、平成二十二年二月五日（木）事務局第一庁舎の総長室で行われました。

渡邊技監のプロフィール

一九六七（昭和四二）年三月 九州大学大学院工学研究科修士課程修了。
同年四月 トヨタ自動車工業（現トヨタ自動車）株式会社に入社し、一九九六（平成八）年六月 取締役就任。その後、常務取締役、専務取締役を歴任し、二〇〇五（平成一七）年六月 技監に就任。二〇〇四（平成一六）年二月 燃料電池自動車の開発により、九州大学から工学博士の学位を受ける。

自動車産業の現状と 次世代の自動車の姿

塩次 本年四月、九州大学は新たな大学院として「統合新領域学府」を設置し、その中に「オートモティヴサイエンス専攻」を開設します。オートモティヴサイエンス専攻がサイエンスの対象として捉える自動車は、様々な技術の結晶体であり、非常に裾野の広い分野です。渡邊技監には、今後の自動車のあり方も含めて幅広い示唆をいただければ幸いです。早速ですが、現在、自動車業界には不況の波が押し寄せています。この現状と今後の展望についてお話しただけですか。

渡邊 二〇〇〇年には世界中で七億四千万台の自動車が走っており、二〇五〇年にはこの三倍以上になると言われています。自動車産業が成長産業であることは間違いありませんが、一〇〇年に一度と言われている経済危機に直面し、世界的に自動車の販売は停滞しています。

塩次 そうであっても、自動車は、今や私たちの生活にはなくてはならない存在になっています。今、需要が停滞していることについて、様々な要因があるとしても、「今までの自動車では駄目ですよ」という社会からのメッセージもあるんじゃないかという気がします。このことも含めて、これからの自動車のあり方についてお話しただけませんか。

渡邊 車は生活や産業の必需品ですから、市場は必ず回復するでしょう。しかし、その時の社会の自動車に対する価値観は今までのものとは違ったものになっていると思います。自動車の抱える問題はいくつかあります。交通事故、交通渋滞、モビリティの地域格差などがそうですが、やはり大きいのは、環境問題、そしてエネルギー問題です。この課題を踏まえた上で、人々の豊かで活気に満ちた生活にモビリティがどのように貢献するかが問われることになるでしょう。

塩次 エネルギーと言えば、石油

の埋蔵量は、毎年のように「後五十年」、「後五十年」と言われていますね。

渡邊 石油について言えば、業界のあるトップによると、消費地の近くにあって、低コストで使える良質なものは二〇二五年には枯渇するとのこと。そうになるとその後は、効率の悪いものを使わざるを得なくなり、環境にも負荷がかかるでしょう。自動車の将来の燃料として考えられるものは、大別すると、石油、電気、あるいは電気から作る水素、それからバイオです。バイオ燃料は重要な技術ですが、問題は森林破壊や食糧とのバッティングです。従って、バイオは量に制限があり、将来の自動車の燃料は、いずれ石油を離脱して、電気（水素）やバイオを目指すことになる訳ですが、電気（水素）が七十〜九十%と、その主流になることは間違いありません。即ち、自動車は電動ハイブリッド化の方向に向かいます。ハイブリッドは電気自動車の中継ぎだと言われますが、そうではありません。

せん。ハイブリッドは、二つの異なるエネルギー変換技術を組み合わせることで常効率のいいポイントで車を動かし、更には回生ブレーキシステムで減速時の運動エネルギーを電気に変えて蓄積します。この車両燃費向上の仕組みにより、ハイブリッドは中継ぎではなく、究極の技術だと考えています。燃料電池自動車もハイブリッドシステムを採用します。

塩次 ハイブリッドの次が燃料電池だとも言われていますが、そうではないのですね。昨年はトヨタにとって、ハイブリッド車として世に出したプリウスの発売十周年でしたが、その開発にも携わっておられたそうですね。

渡邊 私は、プリウスの開発は会社の経営にとってエポックメイキングな出来事だったと思っています。当時技術部では、二十一世紀の自動車として、一九九八年か、一九九年に出そうと計画していたのですが、当時の社長の奥田が「だめだ、一九九七年に出せ」と言ったのです。なぜなら、九七年は京

総長対談

渡邊 浩之
×
有川 節夫

都会議の年なのです。奥田は、これからの自動車会社にとって、環境は必須の経営テーマであるという信念を示しました。そのもとで、プリウスのチーフエンジニアはハイブリッドだけでなく、軽量化や走行抵抗の低減など、会社中を走り回って色々な技術を積み重ね、従来の倍の燃費率を達成したのです。トップの決断と現場の実行力、これがよくかみ合って、革新をもたらした成功事例でしょう。トヨタでもそうそうあるものではないですね。

自動車に特化した 新たな大学院構想

塩次 まさに、トヨタをはじめ、自動車産業は次世代の自動車について懸命に取り組んでおられます。そのような現状を踏まえ、九州大学も社会の要請を踏まえた新たな学問、そして学生の育成に取り組まなければならないと考え、このたび、自動車に特化した新しい大学院を設置します。この構想については有川総長からお話しいただ

きたいと思います。

有川 一昨年のことです。拡大役員会の席で梶山前総長から、何の打ち合わせもなく、「自動車の大学院をやりたい」という提案がありました。しかもそれを私に「やれ」ということでした。私も自動車には関心がありましたが、まさか自分が自動車に関する大学院を構想することになるとは思いもよらないことでした。予備知識はゼロだったのですが、構想するにあたってはいくつかのことが頭に浮かびました。当時は、大学に対して社会から様々な注文が付けられていました。例えば、社会からの期待や要請に、教育の現場が必ずしも対応していないという指摘です。また、大学院で博士の学位を取った学生が、就職した先で十分に活躍できていないといった指摘もありました。このようなことも含めて様々なことを一気に考え、オートモーティブサイエンスを思

いついたのです。自動車という一本の筋を明確に通し、すべての物事を自動車と関連付けることによって、自動車を理解するのももちろん、そこに至る様々なことも理解できる、そういうことを考えたのです。これは逆転の発想で、非常に具体的なものに体系的に取り組むことによって、抽象的で一般的に理解でき、身に付くはずだということなのです。オートモーティブサイエンスは、単に技術のみでなく、社会科学や人間科学も含んでいます。オートモーティブサイエンスになぜ社会科学があるのかと尋ねられることも多かったのですが、私は、「トヨタが大変なことになったら、日本は大変なことになる。だから、これは社会科学だろう。」と乱暴な答え方をしました。アメリカ発の不況によって、そのことが確認されたような状況になってきましたが、こ

の見方、つまり、社会科学という見方は、間違ってたと思っ
ています。それから福岡県は、自動車産業には非常に力を入れていますが、オートモーティブサイエンス専攻は、地元の基幹総合大学として、この政策を教育面からサポートするという側面も持っています。いわゆる教育を通じた社会連携、産学連携ですね。

渡邊 オートモーティブサイエンス専攻の話を伺った時に、この構想は、産業界と大学の係わりという点で、今までにない一歩踏み込んだ仕組みだと思い、大変共感するものがありました。

有川 不思議なことですが、九州大学の工学部には、造船と航空の学科、つまり海・空はあったのに陸がなかったのです。普通なら造船と航空があったら、陸上の乗り物があってもよさそうなものですが。私が言うまで誰もそういうことを言い出さなかったんですね。渡邊 自動車産業はGDPに占める割合が大きく、また多くの科学技術領域に関係していますが、自

動車を一貫して俯瞰する専門の講座は世界にも例を見ないのではないだろうか。自動車に関係する科学技術領域は今後、大きな広がりを見せると思っています。自動車は、もともとHMI（ヒューマン・マシン・インターフェイス）

の化け物のようなものですが、将来、自動車というのはいまより人間との感情だとか心との結びつきに深く関わっていくでしょう。当社の社長は「乗れば乗るほど健康になる車」を作りたいと言っています。実現したい夢のコンセプトですが、社長が言うのは簡単ですけども、それを実行するエンジニアは大変です（笑）。

塩次 新社長は、自動車が好きで好きでたまらないとおっしゃってますね。やはり、乗ると快適で心が弾む、新しい自分が見出せる、そういったものが昔の自動車にはあったような気がします。

渡邊 今、若者が車離れしていると言われていますが、車の面白さや移動による新体験アドベンチャーの楽しさを知らないからなので

す。もっと車の面白さを体感するチャンスも多く創るべきですね。やわな若者ばかりじゃないと思います。

自分の専門より、 自分の関心にこだわる人材へ

塩次 そのようなことをオートモーターサイエンス専攻で実現するためのポイントについてアドバイスをお願いします。

渡邊 一つは人材育成をいかに行うかでしょう。産と学がもっと手を組んで、優秀な人材を育てる必要があると思います。そのためには、それぞれの現場がもっと交流することが必要だと思います。企業が技術解決に必要なメカニズムの解明を模索している、或いは新領域の技術開発に移行しようとしている、という情報を大学がキャッチしてアクションを起こす。あるいは大学が提示する基礎研究のシーズが、産業界の応用製品化開発にインテグレートされて、社会還元が加速される。そういう相互のコミュニケーションが必要だと

思います。

有川 交流とは双方向の行き来を指し、一方向のみは直流と言いますよね。そういう意味では、これまでの産学連携は、大学にシーズがあつて、企業にニーズがあるという捉え方でなされてきたと思うのですが、企業にシーズがあつて、そのシーズを大学がくみ取るという展開もあつていいと思います。こういった双方向的な連携が必要なんじゃないかということです。

渡邊 もう一つは博士課程の問題です。現在の博士課程は、どちらかと言えばアカデミアのリーダーシップを取る人材を育成するコースですから、これはこれで必要でしょう。ただ、産業界にとって必要なドクターを養成するコースを別立てで設けるべきではないでしょうか。

有川 オートモーターサイエンス専攻はそのことも意識しています。この専攻を構想した時に、学生には、自分の「専門」にこだわらずに、現在の「関心」にこだわってほしいと考えました。

渡邊 総長の言われるとおりです。企業も社員に「これは私の専門外です」と言われると困るのです。十年経ったらニーズもシーズも変わるわけですから。

有川 その点、私は日本の工学教育はいい面もあると思っています。教授が「これをやれ」と言うトツプダウン方式で長年やってきました。学生はやりたくなくても教授が言うから仕方がないと思って取り組めます。実はこれが大事なのです。やった内容ではなくて、ゼ口からそこまでやったというその経験が大事なのです。大学はそういうことを教えるところだと思っているのです。ですから、「自分の専門は」と言わず、「自分の現在の関心はこれです」と言わせるような教育ができればいいと思っています。

渡邊 もちろん専門性の高い知識は必要なのですが、併せて、それを自ら変革していく、他分野と果敢に融合していく、そういうスピリッツがあれば、企業でその個有技術力を存分に発揮できるでしょう

総長対談

渡邊 浩之
有川 節夫

う。私達は「T型人間」あるいは

「II（パイ）型人間」という言葉

を使うのですが、ある企画を立て

て開発をプロモートする場合に、

そのリーダーは必ずしも自動車技

術領域の全てにおいて専門家であ

る必要はありません。ただ、総長

が言われたように、一本筋が通っ

ていれば多くのものが見えてきま

すし、仕事のやり方なり、技術の

押さえ方に共感を与えるものがあ

れば、他分野の人の中でもリーダ

ーシップを発揮することが出来ま

す。「T」型の一本の軸は必要な

のですが、決して「I」じゃない。

そういうところまで大学の教育が

手を伸ばしてくるとなると、産業

界にとっては心強い限りです。

塩次 思い起こせば、トヨタが自

動車第一号を作られたのは一九三

〇年代で、その時代も大恐慌で、

国内が疲弊していましたね。

有川 まさに今、この時代も、自

動車業界にとっては逆風が吹いて

いるかもしれません、新しい何

かを始めるには、逆にいいタイミ

ングじゃないかとも思っています。

もう一つ、九州大学は二〇一一年

に帝国大学としての創立から百周

年を迎えます。節目の時に新たな

発想の教育システムができること

を嬉しく思っているのですが、こ

れを機に、教育システムそのもの

を、もう少し根本的なところから

考えてみようとも思っています。

これからも大学は、もっと主体的

に、自信を持って道を切り開いて

いくという、大学本来の使命を果

たさなければならぬと考えてい

ます。

塩次 ありがとうございます。

渡邊 技監には、四月入学の学生全

員が最初に必ず受けることになっ

ている講義をご担当いただくこと

になっています。是非とも、オー

トモータイプサイエンスとは何か

という力強いメッセージを投げか

けていただきたいと思っています。

渡邊 ありがとうございます。大

変良いチャンスを提供いただきました。

オートモータイプサイエンス専攻

のような新しい試みは、自動車そ

のもののあり方を変える可能性が

あると期待しています。なぜなら

職業人生が三十年とすると、十年

経ったら社員の三分の一は新しい

人に入れ替わるのです。「モノつ

くりは人づくり」ですから、大学

が変わると会社は大きく変わります。

私は日本が世界に燦然と輝いた

時代が三つあると思っています。

一つは縄文時代です。世界がまだ

石器を使っていた九千年前に、日

本では土器の発明があったと言わ

れています。土器を生み出したと

いうのは、まさに統合新領域と言

ってよいでしょう。二つ目は飛鳥

天平時代です。薬師寺の東塔は、

千三百年たった今も、美しい姿を

保っております。驚くことに、こ

の塔には千年の歴史を考えた設計

理念が、礎石の高さや屋根の支持

部材長の余裕などに見られます。

もう一つは明治維新です。これは

説明の必要はないでしょう。環境

の変化や異文化との遭遇があって、

創造や革新が触発される。人間は

時として、すごいことをやるもの

ですね。是非是非、九州大学発の

オートモータイプサイエンス専攻

で第四の燦然と輝く時代を作って

いただきたいというのが私の願い

です。それを実現するのは学生諸

君の旺盛な好奇心と果敢な行動力

であると信じています。



対談を終えて（左から）有川節夫総長、渡邊浩之氏、塩次喜代明教授。

九州大学に新たな学府が誕生!!

平成二十一年四月に、十八番目の学府として統合新領域学府が設置され、新たな教育研究がスタートします。統合新領域学府は、専門的な「知」の統合と交流による先端科学（フロンティア・サイエンス）を追求し、高度な専門性と実践性を備え、

現代の科学や社会が直面している課題に果敢に挑戦する人材を育成します。四月からは、ユーザー感性学専攻（修士課程）、オートモーティブサイエンス専攻（修士課程及び博士後期課程）の二つの専攻でスタートします。

統合新領域学府 Graduate School of Integrated Frontier Sciences

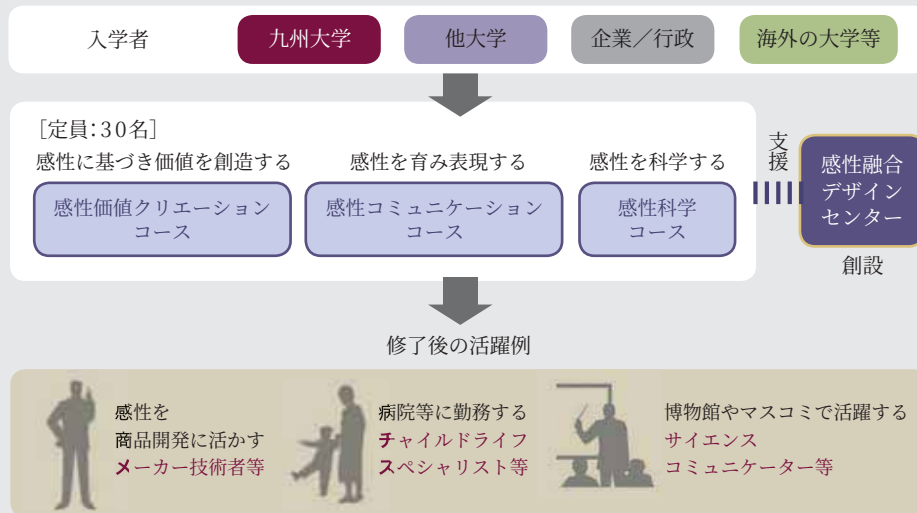
ユーザー感性学専攻

Department of Kansei Science

▶ 「感性」を科学する大学院

知の活用主体であるユーザーの視点から、また感性を基盤として人間理解の上に立って、感性価値の創造を推進する高度な専門人材の養成を行います。「感性」を科学する日本初の大学院です。

ユーザー感性学専攻の構成



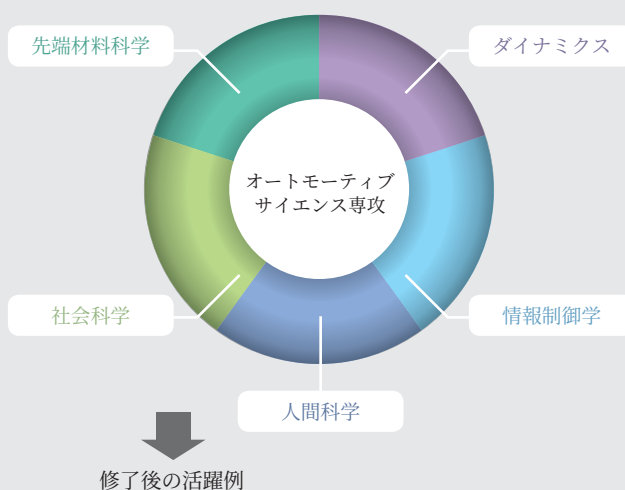
オートモーティブサイエンス専攻

Department of Automotive Science

▶ 「自動車」を科学する大学院

[定員:修士21名、博士後期7名]

オートモーティブサイエンスという視点から、自動車と先端技術、自動車と人間や社会、自動車と環境・エネルギーなど、自動車に関係するフロンティアな課題に取り組む高度な専門人材の養成を行います。これほど総合的で体系化されたオートモーティブ大学院は世界に例を見ません。



自動車関連企業の
研究者・技術者・経営部門のリーダー

大学や研究機関の
研究者・技術者

行政機関や調査研究機関の
専門スタッフ

統合新領域学府の詳細については、<http://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/> をご参照ください。

さようなら
そして
ありがとう

六本松

六本松の歴史(二)

新制九州大学

九州大学大学文書館教授

折田悦郎

今回は、六本松キャンパスの歴史からは少し外れるかもしれないが、前号で述べた旧制福高を包括する九州帝大と新制九大について簡単に見ておくことにしたい。

先ずは、九州帝大の前身京都帝大福岡医科大学の設置が明治三六年(一九〇三)四月、九州帝大自体の創立が同四四年(一九一一)一月、今から約百年前のことであった。九



新制九大正門(箱崎地区)
昭和22年。西日本新聞社提供。

州帝大の初代総長は元東京帝大総長の山川健次郎。この九州帝大が戦後の昭和二二年(一九四七)一〇月に「九州大学」と改称され(つまり大

学名から「帝国」の文字が取れた)、さらに昭和二四年(一九四九)五月

には新制九大となった。九大への改称から新制九大までの時期を普通

「旧制九州大学」と言うが、本論では省略し、以下では昭和二四年五月

に設置された新制大学(新制九大)について説明することにしよう。

ところで新制大学については、最近の研究では昭和二三年五、六月頃に、占領

軍による国立大学の編成に関する原則が

決められたと言われる^①。例えば、各都道府県に少なくとも国立複合大学一つを置くこと、一般教育(リベラルアーツ)と教育(エデュケーション)の学部(教育学部)は別個に置くこと、いくつかの府県以外は一県一大学とすること(それは、一つの大学は府県を跨いでは設置できないということも意味する)等の原則が示されたのである。戦前の、特に帝大中心の専門教育への批判から生まれたのが新制大学だった。

したがって新制九大には、新たに教育学部と、また、正式に法制化はされなかったが、一般教育を担当する教養部(正式には分校)が置かれることになった。その教養部の候補となったのが先に見た旧制福高である。分校設置計画の初期の段階では、隣県の旧制佐賀高等学校も九大に包摂しようという案があったが、これは「県を跨ぐ」ということで実現していない。

新制大学の設置にあたっては、福岡県の場合、東京、京都、大阪、愛

知、北海道

とともに、

一府県一大

学の原則か

らは除外さ

れたので、

同県の高等

教育機関の

全部が一つ

の大学に組

織されると

いうような

ことはなか

った。これ

は、前述の

都道府県以

外の多くの

県で、性格

も歴史も異

なる学校が

一つの大学

とされ、後

に待遇面や

「意識」の

面で大きな



第一分校となる旧制福高全景 昭和6年頃(絵葉書)。運動場から北方を見た写真。



久留米工業専門学校 昭和16年。当初の校名は久留米高等工業学校といった。昭和19年、久留米工業専門学校と改称、昭和26年3月廃校となった。



旧附属医学専門部校舎（病院地区） 昭和30年代。医学専門部は軍医養成を目的とした学校（当初は臨時附属医学専門部、昭和19年度より附属医学専門部）で、同校は第9期生を最後に昭和27年3月に廃校となった。

格差問題を抱え込んだことを考えれば、やはり恵まれていたと言わなければならない。新制九大は大学本体（旧制九大）と、福岡、九大附属医学専門部（昭和一四年五月設置）、久留米工業専門学校（同年五月設置）の四校からなり、例えば七つの学校が寄り集まった東北大学や同じく同数

の学校から編成された隣の熊本大学等と比べれば、比較的少数による統合であった。

こうして始まる新制九大の教養部のうち、一つは六本松の旧制福岡（跡）が第一分校となった。昭和二四年七月一日のことである。同時に第二分校が久留米工專に同居する形で設置され（九大久留米工業専門学校。久留米市小森野町）、さらに旧陸軍西部第四八部隊跡に第三分校が置かれた（久留米市国分町）。新制九大は三つの分校を有し、第一分校が福岡市に、第二、第三分校が久留米市に設置されたことになる。原則として第一分校には福岡市及び近郊在住の文、理、両科の学生が、第二分校にはそれ以外の理科、第三分校には文科の学生が入学した。しかし、特に第三分校は軍隊跡ということもあり、環境劣悪、同校自治会は統合移転を主張し、同分校は昭和二六年三月には廃止された。一方、同年



第一分校看板

三月まで久留米工專と同居していた第二分校は（久留米工專自体は昭和二六年三月廃止）、昭和二八年六月、大水害に遭い、通学路の筑後川小森野橋が流失、一時は「渡し船」で通う学校として有名になったが、今度は昭和二九年秋に赤痢が流行り、これも昭和三〇年一〇月に廃止された。この第二分校の廃止には、九大と久留米市との間に意見の齟齬があり、国会議員も巻き込む大問題となったが、ここではふれない。ただ、同校跡は九大の生産科学研究所久留米分室や久留米工業短期大学の時代を経て、現在では久留米工業高等専門学校になっていることだけを述べておく。こうして結局は、九大の分校は六本松の第一分校のみとなり、昭和三〇年（一九五五）一〇月、その名も「九州大学分校」と改称されたのである。



水害で流失する久留米小森野橋 昭和28年。



第三分校生
第1期フランス語受講生。前列左から3番目、九大初の女性教授となる城野節子講師(当時)。

(1) 例えば、寺崎昌男「国立大学の戦後史を展望する―神戸大学百年史編纂の参考のために―」（『神戸大学史紀要』第七号、五〇八頁、二〇〇七年三月）。(2) 当時第二分校勤務の江嶋寿雄元名誉教授によれば、「小森野橋が橋」と川に落ちて、一〇人位の学生が橋に載ったまま、流れていった。流れていく橋の上に立つて彼等は別に狼狽した様子もなく、下流の国鉄の鉄橋に流れ着くと鉄橋をよじ登って帰って来た。（中略）洪水にふくまれた筑後川を泳ぎ渡ろうとした学生が水死し、その遺体を舟で探し廻った。（中略）その後は、「渡舟で通う大学」として週刊誌に紹介される状態が小森野の川を往復した」と言う『停年退職予定教官特別寄稿 第一編』、『九州大学史資料叢書』第九輯、六八頁、二〇〇一年三月。

FRONT
RUNNER

シリーズ研究

ふろんと
ランナー

工学研究院 環境都市部門 助教

西山浩司

にしやま こうじ

「ふろんとランナー」は、九州大学の研究の最前線をインターネットで紹介するシリーズです。
シリーズ第十三回目は、工学研究院の西山浩司助教に法学部四年の平田えりさんと法学研究院の七戸克彦教授が聞きます。

VOL
13

聞き手 法学部四年 平田えり

法学研究院 七戸克彦 教授

水資源確保を目的として、
進展する人工降雨研究。

「液体炭酸撒布法」の可能性に挑む。

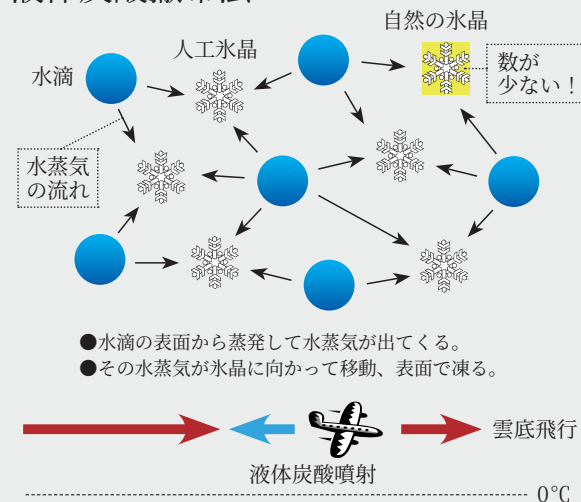
人間が雲から作る水

平田 昨年は、深刻な水不足に悩む長崎県佐世保市から依頼を受けて、人工降雨実験に成功されていますね。
西山 私が採用しているのは液体炭酸撒布法といい、アメリカ・ユタ大学の福田矩彦名誉教授が発案した霧消技術が元になっており、それを降水制御に発展させた方法です。液体炭酸撒布法での最初の降雨実験は、一九九九年二月に長崎・吉岐で行いました。この時の降雨量は、約七十万トン。今回の佐世保での実験は数

万トンで、残念ながら雨量は少なかったのですが、原理的には成功です。また、一九九九年十月には二百万トンもの降水を引き起こし、箱崎キャンパスでも雨が降ったそうです。この研究は本学農学研究院、ユタ大学、防衛大学校と共同で進めてきたものです。当初は「本当にこの方法で雨が降るのか」とおっかなびっくりだったのですが、研究を進めるうちに「やっぱり降るんだ」となり、手応えを実感し始めて、今は「降る」という確信になっています。雲は水滴と水からなり、大気中はまさに巨大

水資源

液体炭酸撒布法



雲の頂上の温度が-10度以上だと、雨の元となる氷晶（ひょうしょう：六角形の氷の結晶）が少ない。

そこで人工的に氷晶を追加してやる

液体炭酸を撒布すると、-90度まで、雲が部分的に急冷され、氷晶が生成する。

この人工の氷晶が雲の中で成長して、重くなり、落下して、雪や雨になる。これが人工降雨・降雪となる。

な水がめです。人工降雨とは水分として地上に落ちる運命にはないものに、人間がほんの一部、雨になる運命を与え、新しく水を作るというイメージですね。

平田 具体的にはどんな方法なのか。

西山 液体炭酸を撒くのは、打ち水の原理と同じです。打ち水は気化熱として周囲の温度を数度下げますが、液体炭酸の蒸発ではマイナス九十度くらいまで急冷されます。そのことで、人工的な氷の結晶がキラキラと

でき始め、これが雲の中でどんどん成長して、落下、融解のプロセスを経て、雨になるのです。ドライアイス法、ヨウ化銀法といくつか方法がありますが、私が採用している液体炭酸法は、雲の下層に航空機で液体炭酸を水平直線状に撒布するといふものです。

七戸 飛行機で飛ぶとなると、大掛かりですね。

西山 この実験で一番お金がかかるのが、飛行機代。一回三時間飛行したとして、六十万円程度の費用がか

かります。一方で、使用する液体炭酸は二、三kgです。人間一人が一日に出す二酸化炭素が一kgくらいですから、一回の実験で数人分といったところですね。環境への負荷もかなり小さいと言えるでしょう。

平田 その程度で雨が降るのですか。

西山 降ります。先ほども話したように、一つの雲で数万トンから、厚ければ百万トン程度の人工降雨が期待できると考えています。量はともあれ、「液体炭酸法によって雨を降らせることができた」というのが第

一段階での成功です。第二段階は、特定の領域を狙って降雨を引き起こすこと。第三段階では、水資源の確保を目的に降雨を引き起こすことが目標になります。

狙った場所に雨を降らす 第二段階へ

平田 現在は、どの段階なのでしょう。

西山 第二段階に着手したというところでしょうか。目下、特定の地域を狙ってということ、山口県でも実験



(写真上) 実際に現れた人工氷晶雲
(写真下) 使用航空機 (セスナ T303 佐賀航空)



聞き手：法学部四年の平田えりさん

しています。山陰側に比べ、山陽側の降雨量が少ないので、雲が中国山地を越えて山陽側に来た時に雨が落ちるようにしようという実験です。

平田 撒いてどのくらいで雨が降り始めるのですか。

西山 佐世保の場合は、一時間以内に長崎県北部で雨が降れば、成功と想定しました。

平田 それにしても、雲の動きを予測するのは大変そうです。



聞き手：七戸克彦教授

西山 天気予報や専門的な天気図を元に、人工降雨に適した雲の発生や風向き、風速による雲の動きを予測します。雨を降らせる雲は厚さが1kmは必要で、すぐに薄くなるような雲に撒くと失敗します。しかし、厚さまで予測が難しいのが現状です。雪の結晶の研究で有名な中谷宇吉郎先生は、「雪は天から送られた手紙である」と言いました。雲の予測は難しいですが、私も雪の日は雪の状態と雲の状態を比較したり、毎日のように空の雲を見上げて、時間経過とともにどうなるかを観察したりと、雲を見抜く眼力を養っているところですよ（笑）。また、気象条件が整うことはもちろんですが、人的な条件にもかかなり縛られます。山口県での実験では、平日は自衛隊の飛行機が飛ぶので、我々の飛行は基本的に土

曜、日曜日になってしまい、「行けるぞ」となった時に今度は飛行機の予約が取れないなど、なかなか大変です（笑）。

機内では酸欠状態。毎回怖いし、失敗も数知れず。それでも面白い。

平田 飛行機に乗る回数も限られますね。

西山 飛行機に乗れるのは、うまくいって年に三回。下手をすると飛べない年があります。いざ飛ぶとなると、毎回、恐怖を感じています。三五〇〇m上空ですからね。酸欠状態で呼吸はしにくいし、意識は朦朧（笑）。雲が多い領域の飛行なので、着氷、視程の低下、落雷など常に危険と隣り合わせです。その意味で、安全を確保してくれるパイロットには頭が上がりません。

七戸 依頼されている場所に降らず、他の場所を潤したら、水利権問題にも発展しそうですね。

西山 そうですよ。いずれは、先生方のような法律家の力もお借りしなくてはならなくなると思います。今はまだ気象学という一つの分野に過ぎませんが、実用化に当たっては、

いろいろな分野のフォローが不可欠です。みんなを幸せにするための研究だからこそ、早急な実用化を目標にするのではなく、着実に育んでいく姿勢を大切にしたいですね。何しろ、研究というのは、失敗の連続です。功を急ぐと、いちいちへこんでしまつて、よくありません。四方を壁に囲まれた時は、悪く考えるほど、どんどん落ち込んでいきますから樂觀的に考えることが大事ですね。そうすると、上への逃げ道が見つかることがあります。樂觀的というのは研究者の才能ではないかと思うほど



液体炭酸による急冷効果を体験（水に浸したスポンジがコチコチに凍る）



西山浩司助教

です。私も失敗したり、飛べない年があっても、失敗を検証したり、過去の知見を評価したりして、次の糧にしようとする姿勢を忘れないようにしています。

平田 先生がこの世界に進むきっかけになったのは何ですか。

西山 自然に関わる事は、好きでした。地球に関することをやりたいと思ったのは高校三年生くらいの時。気象でも地質関係でもよかったのですが、結局、理学部物理学科に合格

して、地球物理系の大気物理学講座（現在…地球惑星科学科に所属）に進み、一から物理原理を学んで、現在の気象分野に役立てています。

優秀とか優秀ではないは関係ない。

自分の好きなことをやる。

平田 私はこの三月で九州大学を卒業し、法科大学院に進学しますが、この四月から九州大学で新しい人生の一步を踏み出す新入生にメッセージ

ジをいただけますか。

西山 「好きなことをやりなさい」ということです。自分はこれがいいなと思ったら、どんどんやったらいい。好きな事だったら続きますから。

優秀とか優秀ではないとかは関係なくて、自分が好きかどうかポイントです。私だって優秀でも何でもないけど好きで楽しいから、やっているわけです。ただし、「自分は何が好きなのだろう」というのが実は難しいですね。私は決して真面目な学生ではありませんでしたが、それを探す努力はしたつもりです。何もしなかったら何が好きになるかわからないでしょう。絶えず自問自答しているうちに、気象が面白いと思ったのです。現在、私は人工降雨の実験は冬にやり、夏は豪雨の発生予測の研究をしています。いずれの領域もまだ分からないことばかりです。受験勉強までは問題には必ず正解があります、大学に入ると、多くの場合、答えが分かっている問題に取り組むことも知っててください。海外への留学でもいい、皆さんがいろいろな経験をして、信念をもってチャレンジできることを見つけられるよう願っています。



前列左より、西山助教と聞き手の平田さん、後列の七戸教授。

西山浩司助教 プロフィール
一九六八年三月十四日 広島県広島市生まれ
一九九三年 九州大学大学院理学研究科物理学専攻（地球物理学コース）修士課程修了
二〇〇七年 博士（工学）（九州大学）
一九九四年 九州大学工学部建設都市工学科助手 採用
二〇〇七年 九州大学大学院工学研究院環境都市部門助教 現在に至る
専門分野…気象学、気象工学（気象予測技術、気象制御技術）

九州大学東京同窓会平成二十一年総会・新年賀詞交歓会



一月二十二日、マンドリンクラブOBによるマンドリン演奏を終えた六時二十分、総会を開始、各議題について総会承認をいただきました。

続いて六時三十分より新年賀詞交歓会に移り、まず岡部正彦東京同窓会会長は、厳しい経済情勢には明るい気持ちで対処し、大学にはOBとして極力応援していく、と挨拶されました。有川総長はキャンパス移転等の状況を報告されたあと、

国の予算など厳しい情勢を逆にチャンスとしていく方針を述べられ、百周年記念事業の成功に同窓会でも尽力願いたいと締めくくられました。大学から村上、落合、今泉理事・副学長、渡辺理事、渡邊総務部長他七名をご来賓としてお迎えしました。落合理事・副学長（同窓会担当）は大学にとって同窓会は車の両輪となるべきものとスピーチされ、百周年記念事業への協力要請をされました。



この後、東京同窓会参与江本寛治氏の発声による乾杯で開宴となり、アサヒビールご寄贈のビールなどで喉を潤しました。

三百名余（申し込みは三百六十名余）が集うパーティでしたが、学士会館会場は二百名収容のホールを二つ繋いで設営しましたのでゆったりとした雰囲気、スムースに飲食・交流が出来ました。宴会中は数名の会員より味のあるスピーチをいただきました。

コールアカデミーのミニ演奏では始めに「博多祝い歌」、「どんたく囃子」が歌われ、日本指揮者協会会長荒谷俊治氏も「野ばら」の指揮棒を振られ、「松原に」では総長、岡部会長、同窓会役員も壇上に上がり、同窓の一体感が強まりました。

終盤、応援団OBの塚本健一氏がエールを演じ、安東恭助参与の力強い閉会の辞のあと平成会浜田貴将会長の三本締めで宴を閉じました。

東京同窓会理事長
田坂 和義



九州大学唐津地区同窓会総会 及び懇親会（平成二十一年一月十日）

今年で七回目の開催となりました唐津地区の総会・懇親会は、宮島傳二郎会長の挨拶の後、知的財産本部の古川勝彦教授による講話、記念撮影、懇親会へと進んでいき、例年に劣らずの賑わいで始まりました。

今回、初めての試みとして、現役の院生にも参加を願い、学生の視点から大学の状況などの話題を振りまいていただき、世代を超えた和気藹々の雰囲気の中、会員の懇親を深めることができました。最後には「春の讃歌」「松原に」を全員で合唱して、来年の再会を誓いました。

初めて参加して

いただいた方に好評を得たり、残念ながらご参加できなかった方から懇親会の様子を伺いたい旨の連絡をいただいたり、会員の方々にかなり浸透してきていることを実感いたしました。今後より多くの方々にご参加していただけるように、趣向を凝らした同窓会を企画してまいります。

最後に、ご協力を賜りました同窓会連合会事務局の方々、またお忙しいなか貴重なご講話を賜りました古川先生に感謝申し上げます。

唐津地区同窓会事務局

西脇 俊彦

（工学部 昭和五十七年卒）



九州大学関西同窓会新年賀詞交歓会

平成二十一年一月十九日（月）午後五時四十五分
から、大阪駅前ホテルグランビア・レストラン「ア
ブ」で開催された。

関西同窓会は、関西地区における学部・垣根をこえた同窓会活動の充実を図るべく、昨年六月二十五日に設立された。同年十月七日には、第一回の行事として、ビアパーティーを開催したが、今回、初めての新年賀詞交歓会であった。

当日は、昭和二十年卒業生から、平成二十年卒業生まで、年齢にすると八十歳台から二十歳台までの多彩なメンバー約百名が集った。

第一部は特別講演で、昭和二十八年経済卒の高岩淡さんから、氏が東映株式会社に入社されてから今日までの映画界の推移と、オフレコの映画界の裏話を伺った。

第二部交歓会は、昭和二十八年法卒の荒巻慎一会長の新年の挨拶に始まり、九州大学有川総長の挨拶のあと、昭和四十八年医卒で昨年十月に京都大学医学部長に就任された光山正雄さんの乾杯の発声で始まった。

昭和五十年経済卒の中野光男さんの司会で懇談が始まり、参加者から思い思いの近況や昔話などのスピーチがあった。九大コルアカデミーのOBからは、学生歌「春の讃歌」、応援歌「見よ紺碧の」、懐かしい「野ばら」などの合唱があり、大学を離れて久しい参加者に、あの頃を思い出させてくれた。

同窓会とは摩訶不思議な魅力がある。関西にいること、九大を出たということだけが共通の条件で、あとは様々異なるメンバーが、一堂に会す。そこに

なんとも言われな
い親近感が醸し出
される。メンバー

は、心を開いて誰
にも警戒せず今を
語り、昔をしのぶ。
話を続けるうち、

さらに新たな事実、
同じ町の出身だと

か、同じ高校だというのが分かると、親近感がいや
増す。大げさに言えば肉親以上の親近感に昇華する。

現役でバリバリやっている人もいれば、すでにリ
タイヤして、趣味や地域のことに精を出している人
もいる。駅や通りですれちがっていた人かもしれないが、今夜を境に、顔見知りになる。先輩と名刺交
換ができることは会社に入りたての新人にとって夢
のよう。

失敗を重ねることが人を作るんだといって、後輩
に諭す先輩もいる。趣味もここまで高じるとプロの
ような人もいる。理科系と文科系もここでは、関係
なく融合している。

とても愉快的な時間を過ごし、昭和四十二年工卒の
上野至大会長代行からの檄と三本締めで閉会した。

次回は夏のビアパーティーの予定だ。冷え込みつつ
ある景気が、その頃までに回復していることを切に
願う。関西同窓会の入会者は、確実に増加しており、
爆発したいものだ。

関西同窓会

岡 政徳（昭和四十四年法卒）



百周年 記念事業^②

知の新世紀を拓く

寄附報告

九州大学百周年記念事業の趣旨にご賛同いただき、多大なご協力・ご支援を賜り深謝いたします。創立百周年の二〇一一年に向けて、更なるご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 法人

寄附の区分	件数	金額（千円）
企業・団体等	230	1,473,360

2 個人

寄附の区分	件数	金額（千円）
卒業生	2,706	152,542
在学生の保護者・有志	459	9,620
教職員、退職者（名誉教授等）	943	159,837
個人篤志家（又は企業）	1	150,000
合計	4,339	1,945,359

（平成21年3月13日現在）

●お問い合わせ先

九州大学百周年記念事業推進室

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1

電話 092-642-7397・7398 FAX 092-642-2113

E-mail 100thinfo@jimu.kyushu-u.ac.jp

使途を特定された寄附の紹介(1)

地球資源グローバル人材育成事業

九州大学百周年記念事業では国際的な人材育成を一つの柱として掲げており、その中で地球資源システム工学部門で「地球資源グローバル人材育成事業」を来年度より開始する運びとなりました。本事業に対して、石油開発をはじめとする資源開発関連会社から多大の支援をいただき、深甚なる感謝の意を表します。

近年、石油石炭をはじめとするエネルギー資源から各種鉱物資源までの種々の地下資源に対する世界的な需要が急増しています。一方、これらの資源の大半を輸入に頼っている我が国としては、資源の安定供給は国の存亡をかけた重要な課題と言っても過言ではありません。資源開発の現場はスケールが大きく、開発にあたっては調査から生産までに要する時間が数年から十年以上の長い年月がかかる場合もあります。したがって、需要の急増にすぐに対応することは難しく、長期的な視野に立って開発を進め、それに従事する人材についても長期的な展望を持った育成が必要です。このような背景の下、海外資源を自主開発する企業において資源分野の人材に対する需要が高まりつつあります。

地球環境工学科地球工学コースでは学生の資源開発への関心を深め、その意欲を高めることを目的として一九八七年より海外の資源開発現場での実習（インターンシップ）を取り入れて

おり、これまでに百名以上の学部三年生が海外での実習を経験しています。しかし、渡航費用や滞在費は学生個人の負担となるケースも多く、



多大な負担となっているのも事実です。

今回の事業では、学生のインターンシップ経費及び大学院修士学生の国際会議発表に要する費用の支援を主な内容としています。同時に海外インターンシップの受け入れ先提供を各企業に協力いただくこととなりました。これにより、将来国内外の資源開発の現場で活躍する人材の育成をより組織的に取り組むことが可能となり、部門として積極的に進めていきたいと考えています。

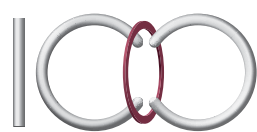
工学研究院
地球資源システム工学部門

教授 糸井 龍一

※本事業において、寄附いただいた企業様
アラビヤ石油(株)、国際石油帝石(株)、コスモエネルギー(株)、新日鉱HD(株)、新日本石油開発(株)、石油資源開発(株)（敬称略・順不同）

海外インターンシップの場となるベトナム沖の洋上施設

九州大学は 2011年に 100周年を 迎えます



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の世紀を拓く

寄附者ご芳名

(法人等団体)

九州大学百周年記念事業にご協力
・ご支援をいただいた法人等の皆様
からのご芳名を掲載させていただきます。

本号においては、平成二十年十二
月末日までに寄附申込をいただいた
皆様を五十音順で掲載しております。

株式会社アーチ電工 様	株式会社アーク電工 様	株式会社アーク電工 様	株式会社アーク電工 様
味の素株式会社 様	味の素株式会社 様	味の素株式会社 様	味の素株式会社 様
アラビヤ石油株式会社 様	アラビヤ石油株式会社 様	アラビヤ石油株式会社 様	アラビヤ石油株式会社 様
株式会社あわや 様	株式会社あわや 様	株式会社あわや 様	株式会社あわや 様
医療法人友和会今村医院 様	医療法人友和会今村医院 様	医療法人友和会今村医院 様	医療法人友和会今村医院 様
岩坂電気工事有限公司 様	岩坂電気工事有限公司 様	岩坂電気工事有限公司 様	岩坂電気工事有限公司 様
株式会社エヌ・ティー・エス 様	株式会社エヌ・ティー・エス 様	株式会社エヌ・ティー・エス 様	株式会社エヌ・ティー・エス 様
大分エル・エヌ・ジー株式会社 様	大分エル・エヌ・ジー株式会社 様	大分エル・エヌ・ジー株式会社 様	大分エル・エヌ・ジー株式会社 様
大分共同火力株式会社 様	大分共同火力株式会社 様	大分共同火力株式会社 様	大分共同火力株式会社 様
株式会社大島造船所 様	株式会社大島造船所 様	株式会社大島造船所 様	株式会社大島造船所 様
財団法人化学及血清療法研究所 様	財団法人化学及血清療法研究所 様	財団法人化学及血清療法研究所 様	財団法人化学及血清療法研究所 様
川崎重工株式会社 様	川崎重工株式会社 様	川崎重工株式会社 様	川崎重工株式会社 様
株式会社キューキ 様	株式会社キューキ 様	株式会社キューキ 様	株式会社キューキ 様
株式会社九建 様	株式会社九建 様	株式会社九建 様	株式会社九建 様
九州環境マネジメント株式会社 様	九州環境マネジメント株式会社 様	九州環境マネジメント株式会社 様	九州環境マネジメント株式会社 様
九州高圧コンクリート工業株式会社 様	九州高圧コンクリート工業株式会社 様	九州高圧コンクリート工業株式会社 様	九州高圧コンクリート工業株式会社 様
株式会社KOS九州口腔健康科学センター 様	株式会社KOS九州口腔健康科学センター 様	株式会社KOS九州口腔健康科学センター 様	株式会社KOS九州口腔健康科学センター 様
九州住宅保証株式会社 様	九州住宅保証株式会社 様	九州住宅保証株式会社 様	九州住宅保証株式会社 様
九州石油株式会社 様	九州石油株式会社 様	九州石油株式会社 様	九州石油株式会社 様
九州大学事務局補佐会 様	九州大学事務局補佐会 様	九州大学事務局補佐会 様	九州大学事務局補佐会 様
九州電技開発株式会社 様	九州電技開発株式会社 様	九州電技開発株式会社 様	九州電技開発株式会社 様
財団法人九州電気保安協会 様	財団法人九州電気保安協会 様	財団法人九州電気保安協会 様	財団法人九州電気保安協会 様
株式会社九州電設 様	株式会社九州電設 様	株式会社九州電設 様	株式会社九州電設 様
九州電力株式会社 様	九州電力株式会社 様	九州電力株式会社 様	九州電力株式会社 様
九州旅客鉄道株式会社 様	九州旅客鉄道株式会社 様	九州旅客鉄道株式会社 様	九州旅客鉄道株式会社 様
九州林産株式会社 様	九州林産株式会社 様	九州林産株式会社 様	九州林産株式会社 様
株式会社九電工 様	株式会社九電工 様	株式会社九電工 様	株式会社九電工 様
九電産業株式会社 様	九電産業株式会社 様	九電産業株式会社 様	九電産業株式会社 様
九電不動産株式会社 様	九電不動産株式会社 様	九電不動産株式会社 様	九電不動産株式会社 様
株式会社キューヘン 様	株式会社キューヘン 様	株式会社キューヘン 様	株式会社キューヘン 様
京セラ株式会社 様	京セラ株式会社 様	京セラ株式会社 様	京セラ株式会社 様
協立産業株式会社 様	協立産業株式会社 様	協立産業株式会社 様	協立産業株式会社 様
クボタシステム開発株式会社 様	クボタシステム開発株式会社 様	クボタシステム開発株式会社 様	クボタシステム開発株式会社 様
株式会社建設技術研究所 様	株式会社建設技術研究所 様	株式会社建設技術研究所 様	株式会社建設技術研究所 様
光洋電器工業株式会社 様	光洋電器工業株式会社 様	光洋電器工業株式会社 様	光洋電器工業株式会社 様
医療法人社団古賀クリニック 様	医療法人社団古賀クリニック 様	医療法人社団古賀クリニック 様	医療法人社団古賀クリニック 様
国際石油開発帝石株式会社 様	国際石油開発帝石株式会社 様	国際石油開発帝石株式会社 様	国際石油開発帝石株式会社 様
医療法人護州会 品川外科病院 様	医療法人護州会 品川外科病院 様	医療法人護州会 品川外科病院 様	医療法人護州会 品川外科病院 様
コスモエネルギー開発株式会社 様	コスモエネルギー開発株式会社 様	コスモエネルギー開発株式会社 様	コスモエネルギー開発株式会社 様
西部瓦斯株式会社 様	西部瓦斯株式会社 様	西部瓦斯株式会社 様	西部瓦斯株式会社 様
佐世保重工業株式会社 様	佐世保重工業株式会社 様	佐世保重工業株式会社 様	佐世保重工業株式会社 様
株式会社佐佐木 様	株式会社佐佐木 様	株式会社佐佐木 様	株式会社佐佐木 様
株式会社サノヤス・ヒシノ明晶 様	株式会社サノヤス・ヒシノ明晶 様	株式会社サノヤス・ヒシノ明晶 様	株式会社サノヤス・ヒシノ明晶 様
三栄印刷株式会社 様	三栄印刷株式会社 様	三栄印刷株式会社 様	三栄印刷株式会社 様
株式会社ジェイ・リライツ 様	株式会社ジェイ・リライツ 様	株式会社ジェイ・リライツ 様	株式会社ジェイ・リライツ 様
株式会社ジャパンブラッドストック 様	株式会社ジャパンブラッドストック 様	株式会社ジャパンブラッドストック 様	株式会社ジャパンブラッドストック 様
昭栄化学工業株式会社 様	昭栄化学工業株式会社 様	昭栄化学工業株式会社 様	昭栄化学工業株式会社 様
昭和電工株式会社 様	昭和電工株式会社 様	昭和電工株式会社 様	昭和電工株式会社 様
医療法人財団親幸会 浜脇記念病院 様	医療法人財団親幸会 浜脇記念病院 様	医療法人財団親幸会 浜脇記念病院 様	医療法人財団親幸会 浜脇記念病院 様
新日鉄グループ 様	新日鉄グループ 様	新日鉄グループ 様	新日鉄グループ 様
新日本製鐵株式会社 様	新日本製鐵株式会社 様	新日本製鐵株式会社 様	新日本製鐵株式会社 様
新日本石油株式会社 様	新日本石油株式会社 様	新日本石油株式会社 様	新日本石油株式会社 様
新日本石油開発株式会社 様	新日本石油開発株式会社 様	新日本石油開発株式会社 様	新日本石油開発株式会社 様
新日本非破壊検査株式会社 様	新日本非破壊検査株式会社 様	新日本非破壊検査株式会社 様	新日本非破壊検査株式会社 様
角田内科医院 様	角田内科医院 様	角田内科医院 様	角田内科医院 様
西部電機株式会社 様	西部電機株式会社 様	西部電機株式会社 様	西部電機株式会社 様
医療法人正明会 様	医療法人正明会 様	医療法人正明会 様	医療法人正明会 様
石油資源開発株式会社 様	石油資源開発株式会社 様	石油資源開発株式会社 様	石油資源開発株式会社 様
全日本空輸株式会社 様	全日本空輸株式会社 様	全日本空輸株式会社 様	全日本空輸株式会社 様
株式会社タカギ 様	株式会社タカギ 様	株式会社タカギ 様	株式会社タカギ 様
宝プレンガス株式会社 様	宝プレンガス株式会社 様	宝プレンガス株式会社 様	宝プレンガス株式会社 様
株式会社団野電気 様	株式会社団野電気 様	株式会社団野電気 様	株式会社団野電気 様
中央自動車工業株式会社 様	中央自動車工業株式会社 様	中央自動車工業株式会社 様	中央自動車工業株式会社 様
ツネイシホールディングス株式会社 様	ツネイシホールディングス株式会社 様	ツネイシホールディングス株式会社 様	ツネイシホールディングス株式会社 様
株式会社デイグ工業 様	株式会社デイグ工業 様	株式会社デイグ工業 様	株式会社デイグ工業 様
株式会社電気ビル 様	株式会社電気ビル 様	株式会社電気ビル 様	株式会社電気ビル 様
電源開発株式会社 様	電源開発株式会社 様	電源開発株式会社 様	電源開発株式会社 様
株式会社同仁化学研究所 様	株式会社同仁化学研究所 様	株式会社同仁化学研究所 様	株式会社同仁化学研究所 様
株式会社ドミックスコーポレーション 様	株式会社ドミックスコーポレーション 様	株式会社ドミックスコーポレーション 様	株式会社ドミックスコーポレーション 様
株式会社軟弱地盤研究所 様	株式会社軟弱地盤研究所 様	株式会社軟弱地盤研究所 様	株式会社軟弱地盤研究所 様
西日本環境エネルギー株式会社 様	西日本環境エネルギー株式会社 様	西日本環境エネルギー株式会社 様	西日本環境エネルギー株式会社 様
西日本技術開発株式会社 様	西日本技術開発株式会社 様	西日本技術開発株式会社 様	西日本技術開発株式会社 様
西日本空輸株式会社 様	西日本空輸株式会社 様	西日本空輸株式会社 様	西日本空輸株式会社 様
株式会社西日本高速印刷 様	株式会社西日本高速印刷 様	株式会社西日本高速印刷 様	株式会社西日本高速印刷 様
西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 様	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 様	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 様	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 様
NDSデータソリューションズ株式会社 様	NDSデータソリューションズ株式会社 様	NDSデータソリューションズ株式会社 様	NDSデータソリューションズ株式会社 様
西日本電気鉄工株式会社 様	西日本電気鉄工株式会社 様	西日本電気鉄工株式会社 様	西日本電気鉄工株式会社 様
西日本プラント工業株式会社 様	西日本プラント工業株式会社 様	西日本プラント工業株式会社 様	西日本プラント工業株式会社 様
医療法人西福岡病院 様	医療法人西福岡病院 様	医療法人西福岡病院 様	医療法人西福岡病院 様
日揮触媒化成株式会社 様	日揮触媒化成株式会社 様	日揮触媒化成株式会社 様	日揮触媒化成株式会社 様
日九興産株式会社 様	日九興産株式会社 様	日九興産株式会社 様	日九興産株式会社 様
有限会社日研精工 様	有限会社日研精工 様	有限会社日研精工 様	有限会社日研精工 様
日産化学工業株式会社 様	日産化学工業株式会社 様	日産化学工業株式会社 様	日産化学工業株式会社 様
株式会社日新建設工業所 様	株式会社日新建設工業所 様	株式会社日新建設工業所 様	株式会社日新建設工業所 様
株式会社NIIPPOコーポレーション 様	株式会社NIIPPOコーポレーション 様	株式会社NIIPPOコーポレーション 様	株式会社NIIPPOコーポレーション 様
日本精工株式会社 様	日本精工株式会社 様	日本精工株式会社 様	日本精工株式会社 様
日本ゼオン株式会社 様	日本ゼオン株式会社 様	日本ゼオン株式会社 様	日本ゼオン株式会社 様
日本タングステン株式会社 様	日本タングステン株式会社 様	日本タングステン株式会社 様	日本タングステン株式会社 様
日本鋳鍛鋼株式会社 様	日本鋳鍛鋼株式会社 様	日本鋳鍛鋼株式会社 様	日本鋳鍛鋼株式会社 様
日本通運株式会社 様	日本通運株式会社 様	日本通運株式会社 様	日本通運株式会社 様
日本電子材料株式会社 様	日本電子材料株式会社 様	日本電子材料株式会社 様	日本電子材料株式会社 様
日本ユニシス株式会社 様	日本ユニシス株式会社 様	日本ユニシス株式会社 様	日本ユニシス株式会社 様
株式会社博多ステーションビル 様	株式会社博多ステーションビル 様	株式会社博多ステーションビル 様	株式会社博多ステーションビル 様
株式会社福岡銀行 様	株式会社福岡銀行 様	株式会社福岡銀行 様	株式会社福岡銀行 様
福岡空港ビルディング株式会社 様	福岡空港ビルディング株式会社 様	福岡空港ビルディング株式会社 様	福岡空港ビルディング株式会社 様
株式会社福岡リアルティ 様	株式会社福岡リアルティ 様	株式会社福岡リアルティ 様	株式会社福岡リアルティ 様
株式会社芙蓉商事 様	株式会社芙蓉商事 様	株式会社芙蓉商事 様	株式会社芙蓉商事 様
医療法人牧和会 様	医療法人牧和会 様	医療法人牧和会 様	医療法人牧和会 様
保全工業株式会社 様	保全工業株式会社 様	保全工業株式会社 様	保全工業株式会社 様
前原市 様	前原市 様	前原市 様	前原市 様
株式会社松尾設計 様	株式会社松尾設計 様	株式会社松尾設計 様	株式会社松尾設計 様
株式会社松本組 様	株式会社松本組 様	株式会社松本組 様	株式会社松本組 様
三井化学株式会社 様	三井化学株式会社 様	三井化学株式会社 様	三井化学株式会社 様
三井造船株式会社 様	三井造船株式会社 様	三井造船株式会社 様	三井造船株式会社 様
三菱重工業株式会社 様	三菱重工業株式会社 様	三菱重工業株式会社 様	三菱重工業株式会社 様
三菱電機株式会社 様	三菱電機株式会社 様	三菱電機株式会社 様	三菱電機株式会社 様
三菱マテリアル株式会社 様	三菱マテリアル株式会社 様	三菱マテリアル株式会社 様	三菱マテリアル株式会社 様
医療法人むらつ歯科クリニック 様	医療法人むらつ歯科クリニック 様	医療法人むらつ歯科クリニック 様	医療法人むらつ歯科クリニック 様
株式会社山田運輸 様	株式会社山田運輸 様	株式会社山田運輸 様	株式会社山田運輸 様
株式会社横河ブリッジホールディングス 様	株式会社横河ブリッジホールディングス 様	株式会社横河ブリッジホールディングス 様	株式会社横河ブリッジホールディングス 様
リックス株式会社 様	リックス株式会社 様	リックス株式会社 様	リックス株式会社 様

(以上、本号掲載一一法人等団体様)



グアナフアトに旅行した際の記念写真

九大生が案内する 世界のキャンパス

交換留学先

Universidad Nacional Autonoma de Mexico

メキシコ国立自治大学



21世紀プログラム 4年

小林 裕幸 こばやし ひろゆき

メキシコ国立自治大学、UNAMの大きな特徴はその広大なキャンパスにあります。そして広大なキャンパスには各学部、研究所はもちろんの事、病院、郵便局など福利厚生施設から劇場などの文化施設まで、何でもあるといってもいいくらいでしょう。その中で多くのメキシコ人学生と外国人留学生在が日々学問に励んでいます。

私は政治社会科学部社会科学科で交換留学生として科目を履修していました。また同時に発展的なスペイン語文法についても学びました。メキシコに着いた当初はメキシコで話されているスペイン語特有の言い回しや発音に驚きましたが、毎日メキシコ人の友人たちと話し、授業の中でシャワーのようにスペイン語を聞き、話している内に学期の中ごろには学部の専門科目で講義している内容を理解できるようになりました。

留学中はメキシコ人の家庭に下宿していました。大学の周辺には家の中の余った部屋を留学生に貸している家庭が多く、大学を訪ねたその日の内に見つけることが出来ました。同じ下宿にはメキシコ人学生は勿論、フランス人、韓国人学生が下宿していたため、他の国から来た学生と話す機会が朝起きてから夜寝るまである、そんな環境で生活することが出来ました。全ての外国人留学生在が最初からスペイン語を満足に話せるというわけではありませんから、メキシコ人以外の学生と話すときは英語を利用する機会が思いのほかありました。

日本とは文化、歴史、国土、何から何まで異なるメキシコ社会で約一年生活することは楽しいばかりではなく、時には苦に感じるものもありました。しかし、そのような自分が育った環境とは全く違うところだからこそ、今までとは違った世界を見ることが出来たのも事実です。

大学情報

Universidad Nacional Autonoma de Mexico

メキシコ国立

自治大学（通称UNAM）はメキシコ第一の規模と学術水準を誇る大学といわれ、歴代メキシコ大統領を輩出してきた大変歴史ある大学です。

そのキャンパスはシユとメキシコ市の中心部から地下鉄で四十分ほど南に行ったところにあり、広大な敷地を有しています。大学はそれ一つで町が形成されているといえるほど広く、図書館や食堂は各学部単位であり、その他劇場や病院なども敷地内にあります。その広大な大学の敷地の中には無料の巡回バスが走り、また無料で自転車の貸し出しもされているため、移動にそれほど困ることはありません。オゴルマンの壁画で有名な中央図書館はキャンパスの北部にあり、科学博物館などとともに観光名所にもなっています。ところでこのUNAMには外国人向けのスペイン語教育センター（通称CEPE）もあり、基本的に誰でもスペイン語やメキシコ文化を学ぶことが出来るコースが年間を通じて用意されていて、ここでは下宿先の斡旋や遺跡見学遠足の開催もしています。



中央図書館



平成18年に秋篠宮家にお誕生になられた悠仁親王さまのお印とされたことでも知られているコウヤマキの枝をお持ちになる秋篠宮殿下

秋篠宮殿下が宮崎演習林を訪問

平成二十一年二月十九日（木）、秋篠宮殿下が本学宮崎演習林（宮崎県東臼杵郡椎葉村）をご訪問されました。

今回のご訪問は、これまで動物・植物と人のかかわりをテーマとして、自然科学と人文科学との学際的な研究を行ってきた総合研究大学院・葉山高等教育センターによるプロジェクト研究（人間生命科学）「地球生命系における生物多様性と文化多様性」（代表・池谷和信国立民族学博物館教授）の本年度のテーマ『九州山地の自然と人の現在―森、イノシシ、焼畑―』の現地調査旅行の一員として椎葉村をご訪問の際に、九州山地の天然林を實際にご覧になりたい、歩いてみたいとのご要望により実現したものです。

ご訪問当日の十九日は朝からあいにくの雨となり、傘を差してのご視察となりましたが、殿下はツガやモミを主体とする天然林を散策されました。途中、榎木宮崎演習林長から天然林の仕組みや演習林で行われている研究の紹介があり、殿下は、近年顕著になってきたシカの食害など演習林周辺を含む九州山地の現状や、椎葉村における伝統的な森林・樹木の利用について説明をお聞きになりました。殿下は独特の香りを持つミズメの樹皮の香りをお嗅ぎになり、また林内を横切る里道の写真を撮られるなど大変熱心なご様子で散策され、天然林を一望する展望台では、遠くの稜線に見えるコウヤマキの樹形を興味深げにご覧になり、宮崎演習林での一時間あまりのご視察を終えられました。

なお、宮崎演習林では、このたびの秋篠宮殿下のご訪問に際し、殿下が散策された歩道に相応しい名前を冠し永遠に記念することとしました。

また、今回のご訪問において、殿下は平成十七年九月の台風十四号で三名の犠牲者を出した椎葉村中心地の災害現場跡地で復興を記念して桜の苗木を植樹されました。

「九大OBが人生を熱く語る」 就活応援イベントを開催

平成二十一年二月十日（火）、箱崎文系キャンパスにおいて、特別企画 九大OBによる就活応援イベント『ビジネスの第一線で活躍するOBが人生を本音で熱く語る！』『グローバル企業管理職、起業家、若手社長、投資家からのメッセージが開催されました。このイベントは、ビジネスの第一線で活躍する九大OBから、「九州大学に恩返しをしよう!」と提案をいただき、就活の応援イベントとして開催したもので、当日は多くの学生が参加しました。

イベントの講演では、株式会社ジェイブレイン 取締役最高執行責任者の蔵元二郎氏（平成九年経・経工卒）から「どの会社就職するかが重要ではなく、その先に何を見ているか、人生をかけて何かを成し遂げるその志を大切にしたい」、また、日本アイ・ピー・エム株式会社 執行役員 金融第二事業部長 武藤和博氏（昭和六十年工・電子卒）から「真のプロフェッショナルを目指すためには、貪欲に学びアウトプットすること、変化し続けること、世界に目を向け行動することが大切」とそれぞれアドバイスがありました。

その後のパネルディスカッションでは、学生からの活発な質問が飛び出し、OBがここだけの話や熱い想いを語り、最後まで活発な議論が繰り広げられました。なお、OBには、今回のイベントに完全手弁当で参加いただき、参加学生にとって実り大きなイベントとなりました。

＜参加いただいた九大OBの皆様＞

- ◎日本アイ・ピー・エム株式会社 執行役員 金融第二事業部長 武藤和博氏（S60工・電子卒）
- ◎株式会社ミックスネットワーク 代表取締役社長 吉川隆二氏（S63経・経工卒）
- ◎兼松グランス株式会社 代表取締役社長 富永浩司氏（H2工・応原卒）
- ◎株式会社エス・エム・エス 代表取締役社長 諸藤周平氏（H12経・経工卒）
- ◎株式会社パイブドピッツ 代表取締役社長 佐谷宣昭氏（H7工・建築、H12人環・博士修了）
- ◎株式会社ジェイブレイン 取締役最高執行責任者 蔵元二郎氏（H9経・経工卒）



グローバルCOEプログラム「未来分子システム科学」でシンポジウムを開催

九州大学では、現在、四件のグローバルCOEプログラムが採択され、大学院博士課程レベルでの最先端の研究と人材育成が行われています。今回「未来分子システム科学」で二つのシンポジウムが開催されました。

平成二十一年二月十日（火）、独ブランデンブルグ州の州都ポツダム市郊外にある、マックスプランク・コロイド・界面研究所（MPIKG）において、本学グローバルCOEプログラム拠点「未来分子システム科学」（リーダー・君塚信夫工学研究院応用化学部門教授）と独を代表する世界的なソフトマター研究拠点MPIKGとの第一回ジョイントシン



ポジウムが開催されました。研究所内の多数の研究者、学生の参加の下、界面科学部門、コロイド化学部門所長の Helmut Mohwald 教授、Markus Antonietti 教授から各部門の概要及び、研究紹介が行われた後、本拠点の紹介並びに最新の研究成果発表を君塚信夫、高原淳、中嶋直敏、古田弘幸教授らが行ないました。また、シンポジウム後に設定された、各研究ユニットリーダーとの個別討論では、MPIKGの最新の研究成果の詳細を知ることができ、両組織の研究連携へ向けた第一歩が本格的にスタートしました。

The 2nd POSTECH/ Kyushu University Global COE Joint Symposium

初日はPOSTECH内の国立ナノ材料技術センター（NCNT）及びポハン加速器・放射光研究施設（PAL）の最先端の施設の見学、さらにRee教授（化学科、PAL所長）によるPALのX線自由電子レーザー計画の紹介の後、ウエルカムレセプションが行われました。レセプション終了後にも、午後九時前後という遅い時間にもかかわらず、煌々とした研究室で学生達が意気揚々と研究を遂行している世界トップレベルにランクされている化学科の視察を行いました。

二日目はCho教授（化学工学科）の挨拶と高原教授のグローバルCOEの紹介の後、午前九時から午後六時まで、高分子、ナノ材料に関連した多岐の内容にわたる七十件を超える活発な研究発表が九大、POSTECHの教員・ポスドク・大学院生によって行われ、シンポジウム終了後は教員と学生に分かれ交流会を行い、親睦を大いに深めました。最終日の午前中は最先端のナノ材料科学を展開する化学工学科の視察を行い、両大学の教員・学生による活発な意見交換が行われ、帰国の途につきました。



また、グローバルCOE「未来分子システム科学」では、将来の日本の科学を支え、国際的舞台上で活躍することのできる人材の育成を目的に、様々な教育活動を実施しています。また、女性研究者の支援、育成も積極的に行っています。ホームページ: http://www.cstm.kyushu-u.ac.jp/gcoe/index_j.php

若田光一宇宙飛行士が 国際宇宙ステーションへ

本学出身の宇宙飛行士若田光一さんを乗せたスペースシャトル・ディスカバリー号が、日本時間の平成二十一年三月十六日（月）午前八時四十三分に米フロリダ州のケネディ宇宙センターから無事に飛び立ちました。

若田さんの宇宙滞在は今回で三回目となりますが、今回は日本人として初めて国際宇宙ステーション（ISS）に長期滞在し、およそ三か月にわたる滞在ミッションを行います。

若田さんからは、打ち上げ前の三月十日に有川総長あてに「激励のメッセージ有難うございます。打ち上げに向けて準備は全て完了しました。国際宇宙ステーションから九大の方々と交信できる機会を楽しみにしております。」とのメッセージも届きました。

打ち上げ当日、伊都キャンパスでは、工学部機械航空工学科、工学研究院航空宇宙工学専攻の学生や教職員が集まり、大型スクリーンで打ち上げのライブ映像を見守りましたが、打ち上げ成功の瞬間には会場は大きな歓声と拍手に包まれました。

また、当日は多くの報道関係者も集まり、会場では学生にインタビューする光景も見られましたが、学生達からは、大先輩の宇宙での活躍を期待する声や、「若田さんに続いて、いつの日か自分も宇宙で活躍したい」との声も聞こえました。

なお、若田さんは今回、九州大学や航空宇宙工学専攻のロゴ入りのポロシャツを公式飛行記念品としてISSに携行しており、このポロシャツは若田さんの帰還後に九州大学に返還されることになっています。



生物資源環境科学府の澤口さん、 ヤンマー学生懸賞論文で大賞を受賞！

第十九回（論文の部）で、九州大学大学院生物資源環境科学府修士一年の澤口敬太さん（写真）が大賞を受賞しました。論文のタイトルは『ペンはクワより強いか』、賞金はなんと百万円です。

この「ヤンマー学生懸賞論文」。毎年、春になると、全国の大学で論文募集のポスターが張り出されますが、応募数はどれくらいだと思いますか。ちなみに現在の全国の大学生数は、二八〇万人です。

答えは、百本程度。九十九%の学生がポスターを意識さえしませんし、意識はしても「自分に関係ない」「自分にはできない」と思っているのです。

ごく一部の学生が「書けるかも」



と思い、書き上げ投稿します。ヤンマーの場合、そのうち十八本が入選を果たすのです。百分の十八です。意識して、できると思い、書いて投稿するだけで、入選の確率はここまです。高まるのです。

応募する学生のほとんどは「三十万円もらえればもうけもん」くらいの気持ちですから、本気で最優秀を狙い、努力と工夫を重ねれば、その確率はどんどん高まります。

証明しましょう。

私は「佐藤懸賞論文ゼミ」を開いて、学科、学部、学年を超え、挑戦したいという学生を受け入れていきます。他大学の学生もやってきます。

この六年間で、五名の学生がそのゼミで論文を書いてヤンマー学生懸賞論文に挑戦し、うち四名の学生が入選しました。大賞百万円が二名、特別優秀賞五十万円が一名、優秀賞三十万円が一名です。

意識する。できると思う。挑戦する。それだけで大学でのあなたの可能性は無限に広がります。

佐藤剛史（農学研究院 助教）

インターネットを通じ地域の魅力や人々の様子を表現する優れたホームページなどを表彰する第十五回マイタウンマップ・コンクールで、箱崎九大記憶保存会が時事通信社賞を受賞し、平成二十一年三月十四日（土）に東京お台場の日本科学未来館において、授賞式が行われました。

平成十九年四月に文学部（社会学研究室）学生有志によって発足した記憶保存会は、九州大学の移転に伴い、姿を消し忘れられつつある「箱崎」（および六本松）の記録と記憶の保存を目的として長年にわたり九大生を育んでくれた街、九大生の思い出が染み込んだ街を画像（写真・動画）、聞き書き形式で記録するという地道な活動が続けてきましたが、今回この活動が評価され、受賞の運びとなりました。

箱崎九大記憶保存会のメンバーからは、「小さな街の小さな記憶を書き留めること、学生と地域住民との温かな触れあいにこそ、忘れてはならない何かがあったこと——こうした思いを出発点として「箱崎九大記憶保存会」は発足しました。こうした地道で地味な活動が「時事通信社賞」を受賞したとの知らせを聞き、メンバー一同で喜びを分かち合いました。

この後街はどのようにに変化していくのか、学生はどのようにに生活をしていくのか、大学はその体制をどのように維持・変化させるのか、今後地域に根ざした活動を足で続けつつ、これらの問いを頭で考えていければと思っています。」とのコメントがあります。



37

九州大学開学記念行事

九州大学は、5月11日を「本学記念日」と定め、例年、開学記念行事を開催しています。

今年は1911年（明治44年）の創立以来98周年を迎え、記念行事として、5月8日（金）に記念講演会、5月11日（月）に記念式典、学内研究施設の公開など様々なイベントを予定しております。

学内外を問わず、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

平成21年度開学記念行事概要

●九州大学創立98周年開学記念講演会

[入場無料・要事前申込み]

日 時 平成21年5月8日（金）18時30分～20時

場 所 アクロス福岡シンフォニーホール

（中央区天神1-1-1）

次 第 ◎総長挨拶

◎記念講演会 講演者：安藤 忠雄氏（建築家）

演 題：「夢をつくる」



講演会申込み方法 郵便番号・住所・氏名・職業（九大関係者の場合は所属・職名（学年））、連絡先を記入して、FAX・メール・ハガキでお申してください。後日、参加証をお送りします。

■申込受付締切：4月21日（火）申込者が定員（1800名）を超過した場合は、抽選により決定させていただきますのでご了承ください。

●記念式典

日 時 平成21年5月11日（月）10時～12時15分

場 所 創立五十周年記念講堂大講堂（九州大学箱崎キャンパス内）

次 第 ◎九大フィルハーモニーオーケストラ演奏

◎総長挨拶

◎感謝状贈呈

◎名誉教授称号記授与 等

●学内研究施設の公開、伊都キャンパスツアー

九州大学の教育研究内容を広く知っていただくため、5月11日（月）を中心に、研究施設等を公開いたします。詳細は本学ホームページ等にてお知らせします。

◎伊都キャンパスツアー（要事前申込み）

日 時 5月11日（月）13時 箱崎キャンパス集合 17時帰着

伊都キャンパスツアー 郵便番号・住所・氏名・職業（九大関係者の場合は所属・職名（学年））、連絡先を記入して、FAX・メール・ハガキでお申してください。後日、参加証をお送りします。

申込み方法 定員（60名）になり次第、締切らせていただきます。

【お申し込みお問い合わせ】

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学総務部総務課

TEL:092-642-2107・3876 FAX:092-642-2113 E-mail:syskaigaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

新聞で報道された九州大学

平成二十年十二月〜平成二十一年一月

12月

大麻に深刻な危険性
九州大学大学院薬学研究院 森元聡
教授に聞く 脳萎縮や精神疾患も
(宮崎日日、長崎12/1、3)

情報技術 戦略を聞く
九州大学 大学院システム情報科学
研究院教授 福田晃氏
(日経産業12/2)

国際コンベンションの開催数
福岡市百五十一件で全国四位
九州大が会場別開催で全国二位
「知名度広く浸透」
(西日本12/3)

「がん研究の一助に」 九大生体防御
医学研 石井准教授に助成金
(大分合同12/3)

白金ゼロの燃料電池触媒
九大など 構造を微細制御
(日経産業12/3)

時評 小説

「総括」困難なあの「時代」
松本常彦比較社会文化研究院教授
(読売12/5)

日韓関係記す文書に光
九州大の韓国研究センター
六、七日に研究集会
(西日本12/5)

九州からヤマト政権考察 九州考古
学会賞 九大・土田准教授に
(読売12/5)

外来陸貝 生息域拡大
家庭菜園や花壇 食害
松隈明彦総合研究博物館教授
(読売12/5)

世界の貧困問題考えて
学生グループとJICA九州
九大箱崎 スラム街の映画上陸
(毎日12/5)

電動ベビーベッド ママの抱っこの
揺れ心地 マルキ開発、九大と組む
(日経産業12/5)

「元壁な母に」空回り 産後うつ
昨秋出産の記者が体験 気づけば怒
鳴り声 思いはき出し回復へ
吉田敬子病院特任教授
(朝日12/5)

知を地域へ 九大の発展戦略②
ホールマネジメントエンジニア 箱
ものを活性化へ 劇場支配人を養成
(西日本12/5)

九州考古学会賞に 九大・辻田准教
授 鏡の流通形態分析
(毎日12/6)

九大大橋キャンパスで 十三日、公
開事業を開催 十二日まで参加募集
(西日本12/6)

学生、医師：止まらぬ大麻汚染
「無害論」は誤り 九州大学院薬
学研究院 森元聡教授に聞く
(熊本日日12/6)

アジア・ビエンナーレ巡礼行
旧植民地の光と陰映し
社会派、周縁の作品目立つ
後小路雅弘人文科学研究院教授
(西日本12/9)

HDD書き込み、磁力十分の一
九大、一インチ角一テラ超可能に
(日経産業12/10)

九大フィルハーモニーオーケストラ
第百八十一回定期演奏会
(朝日12/11)

十七日、URが委員会設置 来春移
転の九大六本松 跡地利用を議論
(西日本、毎日、日経12/10、11)

二〇一〇就職最前線
九大担当者に聞く 檜崎忠行氏
(日経産業12/11)

九州大学 理学部 社会の期待に応
える理学教育と研究
(読売12/11)

九大新大学院セミナー
二十日に福岡市で、無料
(西日本12/12)

合併後の地域政策学ぶ
九州五大学が合宿
きょうから霧島市で百人参加
(西日本12/12)

美術 批評！ ダニ・カラヴァン展
長崎に見た絶望、再生への兆し 池
田美奈子芸術工学研究院准教授
(朝日12/12)

K-20 怪人二十面相・伝
九州大学・北九州ロケ地も見所
(読売12/12)

知を地域へ 九大の発展戦略③
数理学研究院 情報化社会で脚光
社会に役立つ数学
(西日本12/12)

近況往来 九州文学部長(中国哲
学) 柴田篤さん 李退溪の思想、
現代にも
(西日本12/13)

九大混声合唱団第四十五回定期演奏
会
(朝日12/13)

著者に聞きたい
『うまくいかないのが恋』 熟年に恋
愛のススメ 高樹のぶ子さん
(産経12/14)

カネミ油症 「認定基準拡大を検討」
四十年シンポで議論会長
(読売12/15)

ガイド 二〇〇八年九州大
学演劇部後定期公演「雨」
(日経12/16)

研究室を歩く データベース 国際
的に 九州大学農学研究院昆虫学教
室
(読売12/16)

研究者のワークライフバランス
あす、九大で 公開セミナー
(西日本12/17)

九大医学部 先端医療開発特区に採
択 遠隔操作の人工脳など
(読売、西日本、朝日12/17、20)

二十一日に九大ギター アンサンブ
ル定演 ゆずからパツハマまで
(西日本12/18)

九大フィルハーモニーオーケストラ
定期演奏会
(毎日、西日本12/18、20)

九大六本松の跡地利用
イメージ固め 緑・歴史・人づくり
軸 URの委員会始動
(朝日、読売、西日本、毎日12/18)

知を地域へ 九大の発展戦略④
自動車科学大学院 逆風下のスター
ト 生産拠点脱皮へと
(西日本12/19)

円高抑制に期待 日銀利下げ
輸出下支えに効果
九大大学院・丹羽由一教授
(西日本12/20)

アオウミガメの上陸増加
福津市、九大と追跡調査
温暖化影響など解明へ
(読売12/21)

セミナー「食卓の向こう側にある世
界」 佐藤剛史農学研究院助教
(読売12/21)

鉄触媒、有機物合成に活用
京大・九大など 電子・医薬材料
製造安く 高価な貴金属不要に
(日経12/22)

暮れゆく街
ノーベル賞を夢見て 九大工学部
(毎日12/22)

トンネル跡 貯蔵庫に 建物中止
「呼子線」唐津市、九大が研究
(佐賀、西日本12/23、24)

介護 誤飲しにくく消化も促進
九州大学医学部耳鼻咽喉科学講座講
師 梅崎俊郎さん
(産経12/23)

解決策 デザインで提案
大学生が避難生活の課題追求
九州大橋キャンパス
(読売12/24)

知を地域へ 九大の発展戦略⑤
有川節夫学長に聞く 環境、農業に
も力 課題は改革の浸透
(西日本12/26)

九大法学研究院長
土井政和教授を選出
(読売、西日本12/25)

また就活 不安の年越し
緊急採用プー・交渉同席
福岡市・九大が支援策
(日経12/26)

研究者情報、容易に入手
OPACKが九大と運用
産学官交流・連携に拍車
(日刊工12/26)

転勤族のための九州・沖縄学
歴史遺産 移転の課題に 九州大学
(日経12/27)

プルサーマル玄海先行
再処理工場と連動 賛同できぬ
吉岡斉・九州大教授(科学史)
(朝日12/27)

1月

知の新世紀を拓く
九州大学総長 有川節夫
(糸島1/1)

発見！九大のお宝ザクザク 探
検！旧工学部本館 箱崎キャンパス
(毎日1/1)

九州大学 創立八十五周年
法学部・経済学部
(朝日1/1)

患者の細胞 ウィルスで活性化
小児がんに免疫療法
九大、秋にも臨床研究申請
(西日本1/1)

九大三景へ(一)六本松 片山恭一さん
(上) 文学との出会いの場
(毎日1/3)

九大三景へ(二)六本松 片山恭一さん
(下) 三畳間に濃密な記憶
(毎日1/4)

九大三景へ(三)六本松
撮りためた福岡の写真
(毎日1/5)

九大三景へ(四)六本松
田島寮 バンカラの歴史にも幕
(毎日1/7)

九大三景へ(五)六本松
格安食堂、心も込めて三十三年
(毎日1/8)

九大三景へ(六)六本松
街の未来託す跡地利用
(毎日1/9)

九大三景へ(七)箱崎
街の記憶 サイトに保存
(毎日1/10)

九大三景へ(八)箱崎
信仰と交友の拠点
(毎日1/11)

九大三景へ(九)箱崎
移転後「歴史と緑生かして」
(毎日1/12)

九大三景へ(十)伊都
待ち望む「学生街の喫茶店」
(毎日1/13)

九大三景へ(十一)伊都
地元から入学を目指せ
(毎日1/15)

九大三景へ(十二)伊都
今宿 変わりゆく風景
(毎日1/16)

独自の教育プログラム
六本松キャンパスも今年伊都へ移転
(読売1/3)

新エネルギー技術 九大など実証実験
高田保之工学研究院教授
(朝日1/3)

作家・高樹のぶ子さんに聞く
愛が切り開く地球
恋愛は人を初期化する
(熊本日日1/3)

ばらんすシート 高樹のぶ子さん
人生のコスト小さい方が自由
(朝日1/3)

オンの才人オフの達人 作家・九州大学特任教授 高樹のぶ子さん
「仕事力」イコール「恋愛力」
(読売1/4、6)

愛が切り開く地球 人を「初期化」する恋愛 不安な時代より熱く 高樹のぶ子の見た恋愛の力
(西日本1/7)

九六六本松キャンパス移転
学生ら五六〇〇人伊都へ 四月から二〇一九年に完了、整備加速
(西日本1/4)

細胞内小器官へ物質輸送
要のたんばく質解明 京大・九大
(日経産業1/5)

九大病院 バイオ医薬の拠点公開
細胞プロセス室 がん免疫など研究
(西日本、朝日、日経1/7)

VB仕掛け人 九州大学学連携センターVB担当・教授
谷川徹氏 起業プラン披露し磨く
(日経産業1/7)

日本人ゲノム開設へ
産総研、九大など病気の解明期待
(読売1/8)

都会向きミニ風力発電 福岡市が導入計画 新年度九大と共同試験
一基一世帯分音静か
(西日本1/9)

時評 小説 苦しみの時代牛になれ
松本常彦比較社会文化研究院教授
(読売1/9)

受講生募集 今宿退職の九大教授が講師 市民公開講義開講します
(読売1/9)

釜山・九州経済圏を構想 国を巻き込み議論を 松原孝俊氏 九州大韓国研究センター教授
(朝日1/11)

研究室を歩く 感性と技術融合
社会に貢献
九州大ユーザーサイエンス機構
(読売1/11)

病院の実力 治療実績重視し選んで
九大教授 専門医多い病院を 本田浩医学研究院教授
(読売1/11)

思い出の場所 移転でお別れ
サークル棟に感謝の演奏
九六六本松でジャズ研
(西日本1/12)

医療ルネサンス 産後とうつ病
ホルモン現象が引き金
吉田敬子病院特任准教授
(読売1/12)

都市景観賞に十件
九大旧工学部本館 福岡市
(朝日1/15)

ザ・ムーブ 九州大学にて映画上映会を開催
(読売、西日本1/16、22)

博多四季彩スケッチ 九大旧図書館
(西日本1/16)

「ガザの実情知って」
九大留学生エルジャマルさんら訴え
(読売1/16)

奴国の南 遺物展示 九州大筑紫地区 九博で発掘成果展
(読売、日経1/16、21)

受験生会場を下見 あすからセンター試験 九州大学箱崎キャンパス
(西日本1/16)

不況はねのけ夢追う
センター試験 受験生関門挑む
九大箱崎キャンパス
(西日本、読売、朝日、毎日1/17、18)

研究室を歩く ナマコ大量生産へ前進 九州大水産実験所・吉国研究室
(読売1/18)

心肺以外も移植終える 九大など
(日経、朝日、読売、西日本、産経、山口、宮崎日日、南日本1/19)

がん抑制遺伝子 働ききの調節物質
九大 たんばく質発見
(日経、毎日、読売、朝日、西日本、産経、山口、佐賀、長崎、熊本日日、南日本、日刊工1/19、23)

オバマ新政権を読む
九州大学大学院教授 久原正治
経済危機の救世主となるカリダー育成こそ日本の鍵
(西日本1/19)

人間文化研究機構人事
国文学研究資料館長 九州大学副学長 今西祐一郎
(朝日1/20)

講演「日本人における脳卒中と認知症の現状と課題」
九州大学大学院医学研究院環境医学分野教授 清原裕氏
(西日本1/20)

インド系ビジネス組織 創始者が福岡で講演へ 九州大ベンチャービジネスラボラトリー
(西日本1/21)

「劇場・ホール」シンポ 来月二日、アクロス福岡 九州大学大学院ホールマネジメントエンジニア育成ユニット
(西日本1/22)

九大箱崎キャンパス
「立派な施設 活用を」
移転控え周辺校区住民が視察
(毎日1/22)

九州大学落研が二十四、二十五日新春寄席
(西日本1/23)

県庁マン、大学の今を体感 九州大知的財産本部 今泉由紀夫さん
(佐賀1/23)

「相乗り」宇宙に新風 H2A 小型衛星打ち上げも成功 当事者、裏方にOBや学生 九大、「次」へ弾み
(西日本1/24)

九大四教授、さよなら名講義
来月六日開講 受講者募集
(読売1/24)

九大USI公開シンポ
(読売1/25)

米粉を小麦粉の代替に
九大など産学九機関が共同研究
超硬質米を品種化へ
(西日本1/25)

国公立大二次試験
願書受け付け開始 九州大
(読売、西日本1/26)

金融危機と平和題材に
三十一日、九大教授が講演
(西日本1/27)

九大総合理工学研究院院長に本庄氏
本庄春雄教授
(西日本1/27)

明治通りを「知的創造空間」に 九大生が模型示し提案 福岡市で発表会
(西日本1/27)

活動十年目 里山再生着々
福岡グリーンヘルパーの会
九大伊都に計四〇〇〇本植樹
(西日本1/28)

九州大学六本松跡地利用で議論
キャンパス視察 UR委が会合
(西日本、読売、朝日1/29、30)

レッドックス研究
都内で成果報告 九大がフォーラム
(西日本1/29)

ブランド力 九大が一位
九州・沖縄・山口五十五大学で
(日経1/29)

九州大大学院人間環境学研究院院長に
河野氏 河野昭彦教授
(西日本1/29)

福岡市長との直接対話集会
九大跡地要望相次ぐ 中央区の住民ら「都市環境」で意見交換
(毎日1/30)

はしか流行 主要大八割入学前対策
予防接種履歴など調査
九大「かなり効果が上がった」
(読売1/31)

九州大・小江誠司教授に日本学術振興会賞
(西日本1/31)

「かぐや」手助け 役目終わりじゃ
月探査「おきな」お別れ
裏側観測に成功 開発 九大主導
(朝日1/31)

山田直



タイ チェンマイ大学学長

平成二十一年二月三日（火）、ボンサック アンカッシ チェンマイ大学学長が、有川総長を表敬訪問しました。

チェンマイ大学農学部と本学農学研究院は、昨年、部局間交流協定を締結し活発な交流を行っておりますが、平成二十年度大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（総合戦略型））に採択されたアジア農学教育の国際プラットフォーム形成・日・独・タイ連携国際コースによる国際化加速・事業においては、特に連携を深め、今回、キックオフミーティング及び合意書調印式に出席のため来学の折、有川総長を訪れ、同事業を含めた更なる交流について懇談しました。



大韓民国駐劔特命全権大使

平成二十一年三月二十四日（火）、重家俊範大韓民国駐劔特命全権大使が、有川総長を表敬訪問しました。

重家大使は、文部科学省での用務のため帰国の折、有川総長を訪れ、日韓の学術交流及び留學生交流等について懇談しました。

また、表敬に先立ち、最近の日韓関係等について、学生と懇談しました。



編集後記

九州大学出身の若田さんが国際宇宙ステーションに長期滞在している。地球の外で暮らそうという志には想像を絶する勇気を感じる。地球上では観察できない様々な科学的知見を得る機会となろう。一方、宇宙開発にかかるお金の環境や貧困への対策に使ったかどうかという声も聞かれるようだ。この疑問に対して「遠い昔、人類の祖先は洞窟を出て歩き、手を使い、火の使い方を覚えた。冒険こそが人類を進化させた」という回答が、大統領をテーマにした数年前のドラマ（The West Wing）では呈示されている。この号が出るころには、六本松キャンパスの本格移転が完了している。移転という冒険こそが九大を進化させた、と思わせる移転にできるだろうか。学生・教職員全員の真価が問われる。

編集委員 准教授 林 直亨

今年に入って、新聞には、「さようなら六本松」というフレーズの記事が増え、問い合わせも増えた。そのため、私は六本松の歴史について多くのことを学んだ。そこで感じたことは、いつの時代も九大が街をリードし、活気付けてきたということ。六本松の学舎が無くなって寂しい気持ちになるが、足を止めている暇はない。四月には伊都のセンターゾーン開校が待っている。大学として大きな転換期を迎えるが、街をリードし活気付けていくためには、学生・教職員の一人一人が何を考え、何を学び、どんな行動をとるかに掛かっている。私自身、「ようこそ伊都へ」というフレーズの記事がこれから少しでも多く並ぶように、広報室員として尽力していきたい。

広報室 城戸 陽一

九大の最新情報は

「九大広報」の定期購読で。

九州大学同窓会連合会では、九州大学の姿をご理解いただくため、同窓生や在学生のご家族の皆様をはじめ、広く一般の方々にも「九大広報」の定期購読をお願いしています。定期購読は一年間六巻分（隔月発行）三千円でお受けいただけますので、ご希望の方は、同窓会連合会事務局までご連絡をお願いします。

九州大学同窓会連合会事務局

TEL.092-642-4328 FAX.092-642-2113

E-Mail sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

